

平成19年6月6日提出(その1)

経営状況報告書

鳥 取 県

目 次

(1)	財団法人 とっとり政策総合研究センター経営状況報告書	1
(2)	財団法人 鳥取県情報センター経営状況報告書	15
(3)	財団法人 鳥取県文化振興財団経営状況報告書	26
(4)	財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館経営状況報告書	41
(5)	財団法人 鳥取県国際交流財団経営状況報告書	49
(6)	財団法人 鳥取県観光事業団経営状況報告書	66
(7)	財団法人 とっとりコンベンションビューロー経営状況報告書	82
(8)	財団法人 鳥取県臓器バンク経営状況報告書	101
(9)	財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書	110
(10)	財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会経営状況報告書	118
(11)	鳥取県住宅供給公社経営状況報告書	126

(1) 財団法人 とっとり政策総合研究センター経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|---|
| 1 名 称 | 財団法人 とっとり政策総合研究センター |
| 2 目 的 | 広い視野と長期的展望に立った政策・施策に関する調査研究及び提言を行うとともに、各種情報の収集・分析・提供を行い、鳥取県の健全な発展と県民生活の向上に寄与する。 |
| 3 設立許可年月日 | 平成7年6月19日 |
| 4 設立登記年月日 | 平成7年6月21日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 1,188,000,000円
鳥取県出えん金 1,100,000,000円
県内市町村出えん金 34,000,000円
民間企業等出えん金 54,000,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 16人 監 事 2人
理 事 長 道 上 正 規
副理事長 児 嶋 祥 悟 (鳥取商工会議所副会頭)
常務理事 青 木 由 行 (鳥取県企画部長)
理 事 安 藤 賢 (株式会社鳥取銀行代表取締役会長)
" 池 本 百 代 (株式会社三創グリーン取締役)
" 上 田 京 子 (米子市立図書館司書)
" 四 宮 昭 彦 (日本海テレビジョン放送株式会社執行役員総務局長)
" 竹 内 功 (鳥取市長)
" 田 中 仁 成 (株式会社新日本海新聞社編集制作局長)
" 長 井 勇喜夫 (株式会社山陰合同銀行代表取締役専務)
" 野 津 和 功 (鳥取短期大学生生活学科教授)
" 秦 野 諭 示 (鳥取環境大学情報システム学科教授)
" 濱 田 美 絵 (合同会社めぐみ代表)
" 光 多 長 温 (国立大学法人鳥取大学地域学部教授)
" 吉 田 圭 子 (株式会社ヨシダ代表取締役)
" 吉 田 秀 光 (三朝町長)
監 事 浦 林 梅 樹 |

監 事 馬 壁 聰之介

7 職 員 10人(うち県派遣職員 2人)

8 事 務 所 鳥取市東町二丁目308番地

二 平成18年度事業実施状況

1 調査研究事業

(1) 自主研究

鳥取県の小売業のあり方 - 商圈、市街地商店、大規模店舗の相互関係と展開方向 -
鳥取県の経済・産業構造格差と地方制度変更における諸影響

地場伝統産業の維持にむけて - 県内和紙製造業の経営現況と国内業界における位置 -
鳥取県におけるユニバーサル・ツーリズムへの取り組み

食料品製造業界の構造変化と中小食品加工企業の課題 - 鳥取県の食品加工企業の事例 -

鳥取市の工業集積 - 形成プロセスとその構造 -

倉吉の地域アイデンティティと歴史的街なみ環境整備の方向性

「青山剛昌ふるさと館」開館に伴う地域活性化の展望と課題 - マンガ「名探偵コナン」の活用で町の活性化が出来るか -

鳥取市におけるポスト市町村合併 - 確実に変化する地域社会とその対応 -

ポスト市町村合併の地域づくりに関する考察 - 住民意識と自治会・コミュニティ -
中山間過疎地域における「知識創造」とその課題 - 智頭町活性化プロジェクト集団

(Chizu Creative Project Team)の活動事例を通して -

女性の就労と子育ての両立 - 労働力率低下への対応の気運 -

鳥取県の若年者就職支援 - とっとり若者仕事ぶらざの取り組み -

少子高齢化と人口減少に社会増が及ぼす影響 - 将来人口の推計結果を踏まえて -

地方税の租税特別措置に関する一考察 - 法人事業税を中心に -

鳥取県における公的負担からの分析 - 1990年から2003年までを中心に -

(2) 第6回東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)における研究発表

鳥取県におけるユニバーサル・ツーリズムへの取り組み

(3) 2006年度国際都市計画学会シンポジウムへの参加・論文発表

まんがキャラクターを活用した旧中心市街地の再活性化 - 境港市の水木しげる関連事業の活性化事例研究

(4) 受託研究

姫路鳥取線活用方策取りまとめ業務(委託者 国土交通省)

鳥取大学におけるMOT(技術経営)教育に関する調査業務(委託者 鳥取大学)

倉吉打吹地区街なみ環境整備事業計画策定業務(委託者 倉吉市)

金型産業の国際化分業調査業務(委託者 法政大学)

(5) NIRA(総合研究開発機構)公募テーマ共同研究(助成研究)

「地域の『創造力』向上を目指した再生のあり方」(共同研究機関 社団法人北海道未来総合研究所、社団法人地域問題研究所)

2 情報収集提供事業

(1) 機関誌(TORCレポート)を年2回発行した。

(2) ホームページで研究成果等を早期に公表した。

(3) 研究報告会の開催等

研究員による研究成果の報告会を開催するとともに、関係団体の開催する研修会等でも積極的に報告を行った。(主催報告会3回)

また、県・市町村等の委員会等への参加協力を行うとともに、講演会講師、委員会委員にふさわしい専門の人材の紹介などの情報提供を行った。

(4) 地元新聞等へ投稿した。(年間29件)

(5) シンポジウムの開催

「姫路鳥取線を生かした地域づくりシンポジウム」を開催した。(国土交通省及び新日本海新聞社との共催)

内 容 基調講演、基調報告、パネルディスカッション

参加者 約200人

3 国際研究交流活動事業

これまでの海外研究所との交流は、相手側の研究者を受け入れ、とっとり政策総合研究センター(とっとり総研)が行う研究テーマを与える方式としていた。今後はこれを見直し、相互の研究機関の目的に沿った取組を行っていく。

(1) 韓国江原発展研究院との交流

「地域の交通システム」をテーマとして、双方が自国地域と相手国を調査研究する新方式の研究を行った。

(2) 中国吉林大学との交流

吉林大学側の事情により派遣者がなかった。なお、吉林大学との協議の結果、平成19年度の交流については、とっとり総研への派遣前に研究テーマの決定及び事前研究を行うこととし、とっとり総研への派遣期間については短縮するなど、相手方の意向も踏まえた柔軟な対応を取ることとしている。

4 大学との研究交流の推進

鳥取大学との研究交流として、MOT教育に関する受託調査による協力及び研究員等が非常勤講師として講義を行うなどの交流を行った。

5 県民研究活動支援事業

県民の自主的な研究活動を支援し、地域の人材育成並びに鳥取県の活性化に資することを

目的に県民研究員を募集し、調査実施等に要する経費の支援等を行った。(対象：1人)

平成19年度からは、新たに県民研究活動支援制度に移行する予定である。

これを踏まえて、県民研究員制度から県民研究活動支援制度への移行の試行として、県企画部統計課が市町村の産業構造、経済規模の観点から県内東部、中部、西部の3圏域に分けて分析した「市町村民経済計算からみた各圏域の現状について」の研究支援を行った。

また、地域の諸団体の研究支援や連携に新たに取り組むこととし、鳥取市との連携調査を行った。

6 地域文化研究事業

(1) 地域文化サロン(水曜サロン)の開催

「道」をテーマに、地域文化に関わる方を講師として招いた水曜サロンを月1回開催し、講演後に聴講者との意見交換を行った。(延べ参加者521人)

(2) 地域文化研究の実施

平成16年10月1日に旧羽合町・旧泊村・旧東郷町が合併して誕生した湯梨浜町において、旧3町村の住民意識の変化などについて、旧羽合町を中心に「暮らしの文化アンケート調査」を実施し、「暮らしの文化からみた合併後の地域の現状と将来」と題して研究を取りまとめた。

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	事業活動支出	147,278,000	106,871,700	40,406,300	
	1 管理費支出	28,673,000	25,485,640	3,187,360	
	(1) 職員給与費	17,850,000	17,986,355	1,645	一般管理費より
		138,000			138,000円
	(2) 一般管理費	10,823,000	7,499,285	3,185,715	職員給与費へ
		138,000			138,000円
	2 事業費支出	118,605,000	81,386,060	37,218,940	
	(1) 調査研究費	34,379,000	21,101,743	13,277,257	
	(2) 国際研究交流活動費	5,400,000	1,604,248	3,795,752	
	(3) 研究活動支援事業費	2,790,000	6,132	2,783,868	
支	(4) 情報収集提供費	14,700,000	9,827,419	4,872,581	
	(5) 地域文化研究費	2,800,000	2,172,374	627,626	
	(6) 職員給与費	58,536,000	46,674,144	11,861,856	
	投資活動支出	201,815,000	201,812,291	2,709	
	1 特定資産取得支出	240,000	237,291	2,709	
	(1) 退職給付引当預金支出	240,000	237,291	2,709	
	2 固定資産取得支出	1,575,000	1,575,000	0	
	(1) 備品取得支出	1,575,000	1,575,000	0	
	3 投資有価証券取得支出	200,000,000	200,000,000	0	
出	予備費支出	10,706,000	0	10,706,000	
	当期支出合計(C)	359,799,000	308,683,991	51,115,009	
	当期収支差額(A) - (C)	29,481,000	21,665,033	51,146,033	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	51,146,754	51,146,754	

財団法人 とっとり政策総合研究センター
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	57,844,697	負債	8,224,859
1 現金預金	34,221,381	1 流動負債	6,697,943
(1) 普通預金	34,221,381	(1) 未払金	6,292,013
2 未収金	23,623,316	(2) 預り金	405,930
固定資産	1,191,506,269	2 固定負債	1,526,916
1 基本財産	1,188,000,000	(1) 退職給付引当金	1,526,916
(1) 投資有価証券	1,188,000,000	正味財産	1,241,126,107
2 特定資産	1,526,916	(うち基本金)	(1,188,000,000)
(1) 退職給付引当資産	1,526,916	(当期正味財産増加額)	(22,477,239)
3 その他の固定資産	1,979,353		
(1) 什器備品	1,405,310		
(2) 電話加入権	448,043		
(3) 敷金	126,000		
合 計	1,249,350,966	合 計	1,249,350,966

三 平成19年度事業計画

1 事業の取組方針

(1) 事業の目的

「地域の自立」を中心に地域の諸課題への対応を目的とした研究、諸事業を実施する。

(2) 取組方針

とっとり総研は、「地域の自立」に十分寄与できるシンクタンクを目指して、研究員を拡充し、調査研究プロジェクトの内容、質の向上、情報発信の強化に努めてきた。こうした活動が認知度や評価の向上に結実し、県、市町村、大学、県内組織との連携が拡充しつつある。このような状況を踏まえ、平成19年度の取組方針は、

県、市町村の政策決定、実行における参画を進め、実践的研究活動を充実する。

県民、企業、各種団体への研究情報発信とニーズに応じた研究支援活動を強化する。

鳥取県のシンクタンクとして県内の諸課題につき先導的役割を担える研究を行う。

とする。

(3) 研究分野

「経済・産業・企業」、「地域の生活空間」、「社会基盤・構造」の研究及びこの3研究分野を統合的に把握する「総合研究」を行う。平成19年度から新たな研究分野として「地域ニーズに即した諸研究」を加える。

(4) 研究形式

調査研究プロジェクト（自主研究）

県、市町村の政策決定・実行と連携した研究

県内の諸主体（諸組織・個人）の要請に対応した研究

地域に寄与する受託研究

県内外の大学、シンクタンク、諸組織等と連携した受託研究

(5) 研究成果の活用

研究成果の発信強化と諸活動への反映、研究成果に基づいた実践活動への参加

2 調査研究事業の取組内容

(1) 調査研究プロジェクト

「経済・産業・企業」の研究

ア 県内の経済・産業の現状、構造分析を基礎とした諸課題への対策についての研究

(a) 国内外の社会・経済構造変動や諸制度変革に伴う県、市町村、企業、県民への経済的影響の把握と対応策についての研究

(b) 格差問題など社会・経済事象による県内への諸影響や対応策についての研究

イ 県内諸産業の実態把握及び課題と対応策についての研究

電子・電気産業、農水・食品産業、商業、観光産業、サービス業等

ウ 県の新たな経済・産業のありかたについての具体的提言と実践のための活動

「地域の生活空間」の研究

ア 街並み研究

(a) 市町村の個性・自発性に基づいた中心市街地や商店街の活性化と住民生活についての研究

(b) 各種制度の活用と中心市街地活性化についての研究

(c) NPO、コミュニティビジネス、公的業務の民間移転、地域文化についての研究

イ 地域社会研究

(a) 市町村合併などによる諸影響の把握など地域社会についての研究

(b) 鳥取県を視点とした「すみやすさ」の条件、制度についての研究

「社会基盤・構造」の研究

「地方財政」、「地域の人口問題」、「交通全般・情報システム」、「環境」などについての研究

総合研究

ア 複数分野についての総合的研究・提言を拡充

(a) 「地域の自立」の視点からの諸研究の統合

(b) 環日本海研究：国際関係・物流・産業連携・環境分野など多面的に研究を実施

平成19年度調査研究テーマ（調査研究プロジェクト）

経済・産業・企業

経済構造	「地域の経済構造と経済的自立についての研究」
産業・企業研究	「食品産業研究」
	「労働雇用賃金研究」
	「情報産業研究」
	「産業集積研究」
	「産業政策研究」
	「商業、サービス産業、エネルギー・環境産業研究」

地域の生活空間

街並み研究	「生活空間と社会基盤の一体的研究」
	「地域資源活用と観光産業の一体的研究」

地域社会研究	「中心市街地活性化に関する諸研究」 「地域定住政策に関する研究」 「地域経営と地域コミュニティ形成研究」
--------	--

社会基盤・構造

人口問題	「人口減少に関する政策研究」
地方財政	「鳥取県の財政問題の研究」 「市町村財政の問題と打開策研究」 「地域金融と公債制度研究」 「地方分権推進に関わる県内への影響の研究」
交通・情報システム	「交通全般・情報システムに関する諸課題の研究」

総合研究

地域の政策決定	「道州制と関連分野の研究」 「鳥取市校区再編の研究」 「住民基本条例についての研究」 「農産品販売施策の研究」 「環日本海研究 物流・産業連携・環境」
---------	---

注) 研究テーマは、複数年にわたり行うもの、統合するものなど、研究ニーズに対応して今後追加・修正する場合がある。

(2) 受託研究

県・経済産業省による「鳥取県地域産業活性化計画に伴う調査」
その他地域にとって重要な受託調査案件に対して積極的に対応

(3) 国際研究交流活動

韓国江原発展研究院とテーマ検討後、共同研究を実施
中国吉林大学の研究員を6ヶ月間受け入れ、研究を実施

(4) 大学、シンクタンクとの連携

鳥取大学ほか県内大学との連携を引き続き強化
研究分野に応じ、とっとり総研の主体性を確保しつつ、県外大学、シンクタンク、諸組織との連携を強化

(5) 研究活動支援事業

県、市町村の職員や組織に対する専門分野の研究支援を強化
県民個人の研究に対し、希望がある都度、支援を実施

(6) 対外活動と情報提供

研究成果に基づいた実践活動への参画推進

県、市町村、NPOなどの実践的諸活動（各種委員会、他財団、商工業団体、街並み再生など）に対して推進者、委員、助言者としての参加

県内の諸組織、個人への情報発信機能を引き続き強化

ア 研究成果を基礎とした報告会の開催、メディアを通じた情報発信の強化

イ 県、市町村、各種団体の求めに応じ、研究成果を活用できる機会（研究会等）を積極的に利用した情報発信

ウ TORCレポートのほか論集、単行本等による成果公表

エ 大学、諸組織からの講師・執筆等の依頼に対する積極的対応

(7) 地域文化研究事業

「水曜サロン」を事業の柱として、内容の充実を図る。

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
支	事業活動支出	117,812	147,278	29,466	
	1 管理費支出	27,595	28,673	1,078	
	(1) 職員給与費	18,000	17,850	150	
	(2) 一般管理費	9,595	10,823	1,228	
	2 事業費支出	90,217	118,605	28,388	
	(1) 調査研究費	16,000	34,379	18,379	
	(2) 国際研究交流活動費	4,768	5,400	632	
	(3) 研究活動支援事業費	800	2,790	1,990	
	(4) 情報収集提供費	12,000	14,700	2,700	
	(5) 地域文化研究費	2,646	2,800	154	
	(6) 職員給与費	54,003	58,536	4,533	
	投資活動支出	152	201,815	201,663	
	1 特定資産取得支出	152	240	88	
	(1) 退職給付引当預金支出	152	240	88	
	固定資産取得支出	0	1,575	1,575	
	備品取得支出	0	1,575	1,575	
投資有価証券取得支出	0	200,000	200,000		
予備費支出	17,498	10,706	6,792		
出					
	当期支出合計(C)	135,462	359,799	224,337	
	当期収支差額(A) - (C)	29,481	29,481	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

(2) 財団法人 鳥取県情報センター経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 財団法人 鳥取県情報センター
- 2 目 的 電子情報処理組織による情報の提供及び電子情報処理組織の利用技術の開発、技術者の養成等を行い、地方公共団体の行政の近代化及び民間企業における経営の合理化に寄与することを目的とする。
- 3 設立許可年月日 昭和44年3月29日
- 4 設立登記年月日 昭和44年4月2日
- 5 基本財産 出えん金 100,000円
鳥取県出えん金 50,000円
鳥取・倉吉・米子及び境港商工会議所出えん金 50,000円
- 6 役員 理事 19人 監事 2人
- 理事長 前田親保
- 副理事長 八村輝夫(鳥取商工会議所会頭)
- 〃 坂本昭文(鳥取県町村会会長)
- 〃 竹内 功(鳥取市長)
- 専務理事 前田親保(理事長兼務)
- 常務理事 那須俊明(鳥取商工会議所専務理事)
- 〃 住田篤美(米子商工会議所専務理事)
- 〃 青木由行(鳥取県企画部長)
- 理事 野坂康夫(米子市長)
- 〃 長谷川 稔(倉吉市長)
- 〃 中村勝治(境港市長)
- 〃 榎本武利(鳥取県東部町長会会長)
- 〃 吉田秀光(鳥取県中部町村会会長)
- 〃 住田圭成(鳥取県西部町村会会長)
- 〃 永瀬正治(米子商工会議所会頭)
- 〃 足立統一郎(境港商工会議所会頭)
- 〃 中西重康(鳥取県商工会連合会会長)
- 〃 長井勇喜夫(株式会社山陰合同銀行代表取締役専務)
- 〃 坂本洋二(株式会社鳥取銀行常務執行役員)

理事 門田 眞知子 (国立大学法人鳥取大学地域学部教授)

監事 馬壁 聰之介

” 浦林 梅樹

7 職員 65人

8 事務所 本所 鳥取市東町一丁目 220番地

西部支所 米子市加茂町一丁目 1番地

若葉台SDオフィス 鳥取市若葉台南七丁目5番1号

二 平成18年度事業実施状況

1 情報化推進支援事業

全県的な情報化の推進を図るため、県、市町村など関係機関と連携をとりながら、情報化推進事業の実施及び関連事業への支援を行った。

- (1) 鳥取県市町村情報化推進協議会において電子自治体システム市町村共同利用の調査研究
- (2) 鳥取市など4団体の情報化推進事業への助成

2 情報処理事業

県、市町村、団体などからの委託を受けて、コンサルティング、業務システム開発、情報処理、運用管理等の業務を実施した。

< 主な新規受託業務 >

- (1) 県・・・ノーツデータベース開発・改修、児童手当管理システム開発、県給与実態調査システム構築、県立学校情報システム調達仕様書作成業務
- (2) 市町村・・・介護保険システム改修、障害者自立支援システム改修、南部町イントラネット整備、米子市住民税制改正
- (3) 民間・・・保健事業団健診システムカスタマイズ

< 主な継続業務 >

- (1) 県からの受託業務
財務会計、税務、給与等基幹システムの運用管理、庁内LANシステムの運用管理、住民基本台帳ネットワーク・システムの運用管理など
- (2) 市町村からの受託業務
住民記録、税務、財務、戸籍、介護等システムの運用管理、庁内LANシステムの運用管理、住民基本台帳ネットワーク・システムの運用管理など
- (3) その他の受託業務
県国民健康保険団体連合会共同電算処理システム、民間販売管理システムの運用管理、保健事業団新検診システムの保守など

3 教育研修事業

県、市町村等の職員を対象としたセミナーの開催、研修用機器・施設の貸出等研修の支援活動を行い、地方公共団体におけるパソコンの利活用、情報化推進指導者の育成の支援を行った。

- (1) 情報セキュリティについてのセミナー開催
- (2) 電子自治体ITセミナーを共催（主催：財団法人地方自治情報センター）

4 調査研究事業

地域の情報化を的確かつ効果的に推進するため、先進的情報化動向及び情報技術等について調査研究を行い、その成果を提供し、地域情報化の推進を支援した。（インターネット放送局A S P調査研究、テレビ会議システム利用実験）

5 鳥取情報ハイウェイ管理運営事業

県、市町村及び民間、団体から鳥取情報ハイウェイの管理運営委託を受けて、24時間、365日の監視業務などの管理運営業務を実施した。

6 業務運営の効率化

公益法人として低コストで安定した情報サービスを継続的に提供するため、効率性、健全性の観点から、必要な組織体制、事務処理の見直しを行った。

(1) 業務執行体制の見直しと経費の削減

今後、受託業務の減少が見込まれることから経費の削減を行い、経営の効率化を図った。（退職者不補充、5%給与カットの継続、時間外手当の見直し等による職員人件費の削減、富士通ホスト機見直し等による機械借上料の削減、若葉台事務所縮小等による事務所経費の削減）

(2) I S M S 適合性評価認証の的確な運用

I S M S 認証基準のJ I S 化に伴い、J I S Q 2 7 0 0 1 (I S O / I E C 2 7 0 0 1) 認証への移行審査を受審した。

(3) プライバシーマーク（Pマーク）の認証取得

認証基準のJ I S 化に伴う計画の見直しを行い、平成19年度の認証取得に向けた手続きを行った。

(4) データセンター機能の強化

平成18年8月にブレードサーバーを導入し、各サーバーの統合を順次行い、今後、増加すると思われるWeb系業務に対応できるようデータセンター機能の強化を行った。

(5) 人事評価制度の導入

評価に基づく効果的な人材育成を図り、職員個々の能力向上と組織力の向上を目的とした人事評価制度を導入実施した。

(6) 業務システム検討会設置

町村の基幹システムである住民記録、税、財務などのシステムの利用について、町村と共同で、より効果的なシステムの利活用についての協議・検討及び情報の提供・交換を行うための検討会を設置した。

財団法人 鳥取県情報センター
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
収	事業活動収入	2,096,397,000	2,084,938,072	11,458,928	
	1 基本財産運用収入	0	40	40	
	(1) 基本財産利息収入	0	40	40	
	2 特定資産運用収入	220,000	212,050	7,950	
	(1) 特定資産利息収入	220,000	212,050	7,950	
	3 事業収入	2,092,791,000	2,081,650,942	11,140,058	
	(1) 情報処理受託事業収入	2,000,009,000	1,988,868,922	11,140,078	
	県受託収入	1,098,164,000	1,084,717,033	13,446,967	
	その他受託収入	901,845,000	904,151,889	2,306,889	
	(2) 情報ハイウェイ管理運営事業収入	92,782,000	92,782,020	20	
	県受託収入	69,188,000	69,188,120	120	
	その他受託収入	23,594,000	23,593,900	100	
	4 雑収入	3,386,000	3,075,040	310,960	
	(1) 受取利息収入	830,000	742,861	87,139	
	(2) 有価証券運用収入	2,206,000	2,057,712	148,288	
(3) 雑収入	350,000	274,467	75,533		
入	投資活動収入	982,000	981,480	520	
	1 敷金・保証金戻り収入	982,000	981,480	520	
	(1) 敷金戻り収入	982,000	981,480	520	
	当期収入合計(A)	2,097,379,000	2,085,919,552	11,459,448	
	前期繰越収支差額	1,314,480,000	1,351,021,416	36,541,416	
	収入合計(B)	3,411,859,000	3,436,940,968	25,081,968	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	事業活動支出	1,913,858,000	1,926,955,648	13,097,648	
	1 管理費支出	128,097,000	158,472,360	30,375,360	
	(1) 役員報酬費	5,269,000	5,225,460	43,540	
	(2) 職員給与費	58,798,000	58,201,400	596,600	
	(3) その他経費	64,030,000	95,045,500	31,015,500	
	2 事業費支出	1,785,761,000	1,768,483,288	17,277,712	
	(1) 情報化推進支援事業	4,300,000	2,890,488	1,409,512	
	職員給与費	10,000	6,142	3,858	
	その他経費	4,290,000	2,884,346	1,405,654	
	(2) 情報処理受託事業	1,696,840,000	1,684,776,154	12,063,846	
	職員給与費	429,845,000	429,612,784	232,216	
	その他経費	1,266,995,000	1,255,163,370	11,831,630	
	(3) 教育研修事業	2,673,000	1,588,410	1,084,590	
	職員給与費	131,000	25,554	105,446	
	その他経費	2,542,000	1,562,856	979,144	
	(4) 調査研究事業	1,771,000	620,636	1,150,364	
	職員給与費	117,000	13,237	103,763	
	その他経費	1,654,000	607,399	1,046,601	
	(5) 情報ハイウェイ管理運営事業	80,177,000	78,607,600	1,569,400	
	職員給与費	62,447,000	62,680,563	233,563	
	その他経費	17,730,000	15,927,037	1,802,963	
	投資活動支出	466,676,000	465,021,415	1,654,585	
	1 特定資産取得支出	430,000,000	430,000,000	0	
	(1) 減価償却引当支出	430,000,000	430,000,000	0	
	2 固定資産取得支出	36,676,000	35,021,415	1,654,585	
	(1) 什器備品購入支出	36,596,000	34,950,932	1,645,068	
	(2) 長期前払金支出	80,000	70,483	9,517	
	予備費支出	5,275,000	0	5,275,000	
	当期支出合計(C)	2,385,809,000	2,391,977,063	6,168,063	
	当期収支差額(A) - (C)	288,430,000	306,057,511	17,627,511	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	1,026,050,000	1,044,963,905	18,913,905	

財団法人 鳥取県情報センター
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	1,327,713,169	負債	284,281,461
1 現金預金	862,692,267	1 流動負債	271,294,475
(1) 普通預金	242,792,267	(1) 未払費用	151,787,892
(2) 定期預金	619,900,000	(2) 預り金	74,329,569
2 未収金	450,351,321	(3) 前受金	853,314
3 貯蔵品	11,454,789	(4) 未払法人税等	38,177,000
4 前払費用	1,644,159	(5) 未払消費税	6,146,700
5 預け金	1,570,633	2 固定負債	12,986,986
		(1) 賞与引当金	12,986,986
固定資産	827,425,911	正味財産	1,870,857,619
1 基本財産	100,000	(うち基本金)	(100,000)
(1) 基本財産定期預金	100,000	(当期正味財産増加額)	(76,974,608)
2 特定資産	430,000,000		
(1) 減価償却引当資産	430,000,000		
3 その他固定資産	397,325,911		
(1) 土地	71,692,766		
(2) 建物	21,632,604		
(3) 設備備品	42,868,402		
(4) 車輛運搬	1,599,238		
(5) 機械装置	21,815,429		
(6) 建物付属設備	29,076,991		
(7) 電話加入権	374,200		
(8) 無形固定資産	3,180,750		
(9) 繰延資産	71,345,068		
(10) 敷金	3,569,320		
(11) 長期前払費用	171,143		
(12) 投資有価証券	130,000,000		
合 計	2,155,139,080	合 計	2,155,139,080

三 平成19年度事業計画

1 情報化推進支援事業

全県的な情報化の推進を図るため、県、市町村など関係機関と連携をとりながら、情報化推進事業の実施及び関連事業への支援を行う。

(鳥取県市町村情報化推進協議会の運営、情報化推進事業助成、情報化関連組織への参加など)

2 情報処理受託事業

県、市町村、団体などからの受託により、コンサルティング、業務システム開発、情報処理、運用管理等の業務を実施する。

<主な新規受託業務>

- (1) 県・・・給与認定簿管理システム構築、情報システム構築に係る基本設計等業務、庁内LANシステムの次期セキュリティ基盤調査・検討業務他
- (2) 市町村・・・後期高齢者医療制度対応(10町村、1団体)、住民税システム税制改正対応(米子市)他
- (3) 団体・民間・・・県国民健康保険団体連合会新共電システム機能追加

<主な継続業務>

(1) 県からの受託業務

財務会計、税務、給与等基幹システムの運用管理、庁内LANシステムの運用管理、住民基本台帳ネットワーク・システムの運用管理など

(2) 市町村からの受託業務

住民記録、税務、財務、戸籍、介護等システムの運用管理、庁内LANシステムの運用管理、住民基本台帳ネットワーク・システムの運用管理など

(3) その他の受託業務

県国民健康保険団体連合会共電ホスト国保処理、民間販売管理システムの運用管理、保健事業団検診システム保守、智頭急行社内LAN運用支援など

3 教育研修事業

県、市町村等の職員を対象としたセミナーの開催、研修用機器・施設の貸出等研修の支援活動を行い、地方公共団体におけるパソコンの利活用、情報化推進指導者の育成の支援を行う。(情報化最新動向セミナー開催、情報化研修支援)

4 調査研究事業

地域の情報化を的確かつ効果的に推進するため、先進的情報化動向及び情報技術等について調査研究を行い、その成果を提供し地域情報化の推進を支援する。

(インターネット放送局ASP調査研究、テレビ会議システム利用実験、e-ラーニング・

コンテンツ作成実験事業)

5 鳥取情報ハイウェイ管理運営事業

鳥取情報ハイウェイ管理センターの運営と合わせ、全市町村及び団体の監視業務を受託する。

6 業務運営の効率化・高度化

公益法人として低コストで安定した情報サービスを継続的に提供するため、効率性・健全性の観点から、必要な組織体制、事務処理等の見直し及び設備、機器等の整備を行う。

(1) 経費節減と業務執行体制の見直し

職員給与カット・期末手当等の減による職員給与費の削減、ホスト機の構成見直しによる経費節減の検討、旅費システム、就業管理システム、執行管理システム等の検討と導入などを行う。

(2) データ管理環境の整備

ホストテープ装置として大容量化、暗号化等の可能な装置を導入し、効率的でセキュリティを確保したデータの運用及び保管を図るための環境整備を行う。

(3) セキュリティ体制の強化

現在のICカード識別入退室装置の更新と西部支所セキュリティドアの追加を行う。

また、JISQ27001に対応したISMSの運用とプライバシーマークの認証取得により、セキュリティ体制のより一層の強化を図る。

(4) データセンター機能の強化

電子計算機室を整備することでサーバの設置場所を確保し、今後のハウジング、ホスティングのためのデータセンター機能の強化を図る。

(5) ヘルプデスク機能の拡張

県庁LANのヘルプデスクの対象業務の拡張に伴い電話回線及び要員を増強し、適切な運用を図る。

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	事業活動支出	1,749,802	1,913,858	164,056	
	1 管理費支出	126,518	128,097	1,579	
	(1) 役員報酬費	5,243	5,269	26	
	(2) 職員給与費	59,483	58,798	685	
	(3) その他経費	61,792	64,030	2,238	
	2 事業費支出	1,623,284	1,785,761	162,477	
	(1) 情報化推進支援事業	11,574	4,300	7,274	
	その他経費	11,574	4,290	7,284	
	職員給与費	0	10	10	
	(2) 情報処理受託事業	1,528,256	1,696,840	168,584	
	職員給与費	414,687	429,845	15,158	
	その他経費	1,113,569	1,266,995	153,426	
	(3) 教育研修事業	2,448	2,673	225	
	職員給与費	131	131	0	
	その他経費	2,317	2,542	225	
	(4) 調査研究事業	2,182	1,771	411	
	職員給与費	117	117	0	
	その他経費	2,065	1,654	411	
	(5) 情報ハイウェイ管理運営事業	78,824	80,177	1,353	
	職員給与費	62,655	62,447	208	
	その他経費	16,169	17,730	1,561	
	投資活動支出	61,221	466,676	405,455	
	1 特定資産取得支出	20,000	430,000	410,000	
	(1) 減価償却引当支出	20,000	430,000	410,000	
	2 固定資産取得支出	41,221	36,676	4,545	
	(1) 什器備品購入支出	41,221	36,596	4,625	
	長期前払金支出	0	80	80	
	予備費支出	10,000	5,275	4,725	
	当期支出合計(C)	1,821,023	2,385,809	564,786	
	当期収支差額(A) - (C)	33,179	288,430	321,609	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	1,059,229	1,026,050	33,179	

(注) 1 借入金限度額 100,000千円

2 公益事業への繰出予定金 8,000千円

(3) 財団法人 鳥取県文化振興財団経営状況報告書

一 法人の概要

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 名 称 | 財団法人 鳥取県文化振興財団 |
| 2 | 目 的 | 県民の多様化、高度化する文化への志向に応えるため、文化の振興に関する各種の事業を実施し、もって県民文化の向上と公共福祉の増進に資することを目的とする。 |
| 3 | 設立許可年月日 | 平成4年10月1日 |
| 4 | 設立登記年月日 | 平成4年10月8日 |
| 5 | 基本財産 | 出えん金 2,000,000,000円
鳥取県出えん金 2,000,000,000円 |
| 6 | 役員 | 理事 14人 監事 2人
理事長 武田 勝文
副理事長 柴田 英 杞 (財団法人鳥取県文化振興財団文化芸術デザイナー)
常務理事 森谷 邦彦 (鳥取県立県民文化会館館長)
理事 新倉 健 (国立大学法人鳥取大学地域学部附属芸術文化センター長)
" 長谷川 稔 (倉吉市長)
" 中 永 廣 樹 (鳥取県教育委員会教育長)
" 衣 笠 克 則 (鳥取県文化観光局長)
" 長 井 勇喜夫 (株式会社山陰合同銀行代表取締役専務)
" 石 田 敏 光 (倉吉商工会議所副会頭)
" 長谷川 泰 二 (財団法人とっとりコンベンションビューロー専務理事)
" 田 中 仁 成 (株式会社新日本海新聞社編集制作局長)
" 吉 田 圭 子 (鳥取県法人会女性部会連絡協議会副会長)
" 白 石 由美子 (鳥取短期大学教授)
" 齋 藤 員 幸 (鳥取県立倉吉未来中心館館長)
監事 馬 壁 聰之介
" 西 村 照 子 (西村照子税理士事務所所長) |
| 7 | 職 員 | 32人 (うち県派遣職員 2人) |

8 事 務 所 本 部 鳥取市尚徳町 1 0 1 番地 5 (県民文化会館)
事 務 所 倉吉市駄経寺町 2 1 2 番地 5 (倉吉未来中心)

二 平成18年度事業実施状況

1 財団管理運営事業

財団法人鳥取県文化振興財団の事務、事業の適正かつ円滑な管理運営を行った。

2 県民文化会館管理運営事業等

(1) 県からの委託を受け、県民文化会館の円滑な管理運営を行った。

(2) 文化芸術事業

第4回鳥取県総合芸術文化祭で、「鳥取県青少年郷土芸能の祭典2006」及び県出身アーティストによるコンサート「こどもの楽園」を実施した。

また、演劇を創造しプロデュース公演を行う「鳥取県演劇創造事業」、県内及び県出身の優れた文化活動者を学校等に派遣し、子ども参加型の公演・体験型のワークショップ等を行う「とつとりの芸術宅配便事業」、県内のミュージカル団体と協働して「鳥取ミュージカル事業」を実施した。

県民文化会館が文化の拠点として、もっと身近な施設となり、多くの方に来館していただくことを目的に「鳥取県民文化会館自由空間音楽会」を11回開催した。

また、倉吉未来中心アトリウムとセミナー棟廊下の壁面（未来画廊）を地元文化活動者の発表の場として提供することにより、地元アーティストの育成を図るとともに、その活動を広く紹介することを目的に「倉吉未来中心『楽演祭』」を7事業実施した。

県内在住及び県出身の方で将来性のあるアーティストをオーディションにより発掘し、今後の活動を支援することを目的に「地元アーティスト支援事業（第2回声楽部門）」を実施したほか、過去の受賞者が出演する「地元アーティスト支援事業『名曲をあなたに』コンサート」を県内文化施設と共催して開催した。

県等からの委託事業として、「スポレク鳥取2006祭典旗引継式」、「第4回鳥取県総合芸術文化祭平成の芝居小屋『朝日座』舞台制作」、「古典芸能文化講座『狂言』」、「伝統芸能掘り起こし・磨き上げ調査事業」を実施した。

文化芸術に親しむ人や横断的な鑑賞者を増やすことを重視した鑑賞公演事業を12事業（14公演）実施した。併せて、送迎バスの運行及び託児サービスを実施し、観客のサービスの向上を図った。

館の支援者の拡大と育成及び参加者の文化活動を通じた自己実現の達成を目的として「ホールボランティア（舞台スタッフ）」を募集した。

米子駐在員を常駐させ、西部地区における文化活動者や県西部県民局の文化担当者と連携・協働して事業を実施した。

3 倉吉未来中心管理運営事業

県及び倉吉市（中部の町が一部負担）からの委託を受け、倉吉未来中心の円滑な管理運営

を行った。

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	事業活動支出	634,461,000	614,783,574	19,677,426	
	1 管理費支出	5,127,000	2,744,453	2,382,547	
	(1) 役員報酬費	41,000	0	41,000	
	(2) 事務費	5,086,000	2,744,453	2,341,547	
	2 県民文化会館事業費支出	417,848,000	403,787,237	14,060,763	
	(1) 管理運営事業費	298,552,000	292,922,642	5,629,358	
	職員給与費	94,916,000	94,905,633	10,367	
	事務費	203,636,000	198,017,009	5,618,991	
	(2) 文化芸術事業費	119,296,000	110,864,595	8,431,405	
	3 倉吉未来中心事業費支出	211,486,000	208,251,884	3,234,116	
	(1) 管理運営事業費	211,406,000	208,237,252	3,168,748	
	職員給与費	54,663,000	54,536,731	126,269	
	事務費	156,743,000	153,700,521	3,042,479	
	(2) 梨記念館残務事務支出	80,000	14,632	65,368	
	投資活動支出	503,500,000	502,567,250	932,750	
	1 基本財産取得支出	500,000,000	500,000,000	0	
	(1) 投資有価証券取得支出	500,000,000	500,000,000	0	
	2 固定資産取得支出	3,500,000	2,567,250	932,750	
	(1) 車両運搬具購入支出	3,500,000	2,567,250	932,750	
	予備費支出	82,103,000	0	82,103,000	
支	当期支出合計(C)	1,220,064,000	1,117,350,824	102,713,176	
	当期収支差額(A) - (C)	74,978,000	18,356,530	93,334,530	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	93,335,480	93,335,480	

財団法人 鳥取県文化振興財団
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	229,102,476	負債	135,766,996
1 現金預金	216,203,967	1 流動負債	135,766,996
(1) 現金	420,010	(1) 未払金	116,877,079
(2) 普通預金	215,783,957	(2) 前受金	17,043,500
2 未収金	9,599,107	(3) 預り金	1,846,417
3 前払金	590,681		
4 仮払金	2,708,721	正味財産	2,125,233,476
		(うち基本金)	(2,000,000,000)
固定資産	2,031,897,996	(当期正味財産増加額)	(19,989,612)
1 基本財産	2,000,000,000		
(1) 投資有価証券	2,000,000,000		
2 その他の固定資産	31,897,996		
(1) 電話加入権	74,984		
(2) 敷金	21,000		
(3) 投資有価証券	30,000,000		
(4) 車両運搬具	2,567,250		
(5) 車両運搬具減価償却	765,238		
累計額			
合 計	2,261,000,472	合 計	2,261,000,472

三 平成19年度事業計画

1 財団の管理運営

財団法人鳥取県文化振興財団の事務、事業の適正かつ円滑な管理運営を行う。

2 県民文化会館の実施事業

(1) 県民文化会館の管理運営の受託

県からの委託を受け、県民文化会館の円滑な管理運営を行う。

管理事務

利用料徴収事務

利用促進事務

鳥取県文化施設協議会事務局館としての運営

中四国地区公立文化施設協会の技術委員長館としての運営

(2) 文化芸術事業の実施

県内の文化活動者が協働して事業を行い、文化に親しむ人々を増やすとともに優れた文化芸術を生み出し、文化立県を図る。

3 倉吉未来中心の実施事業

(1) 倉吉未来中心の管理運営の受託

県及び倉吉市（中部の町が一部負担）からの委託を受け、倉吉未来中心の円滑な管理運営を行う。

管理事務

利用料徴収事務

利用促進事務

4 文化振興事業基金の設置・実施事業

県からの補助金を受け、新たに基金を設置し、県民の多様化・高度化する文化の向上に寄与する文化芸術事業を実施する。

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	事業活動支出	98,703	45,099	53,604	
	1 管理費支出	5,306	5,127	179	
	(1) 役員報酬費	121	41	80	
	(2) その他経費	5,185	5,086	99	
	2 他会計への繰入金支出	93,397	39,972	53,425	
	(1) 県民文化会館特別会計 への繰入金支出	29,209	39,892	10,683	
	(2) 文化振興事業基金特別 への繰入金支出	64,188	0	64,188	
	倉吉未来中心特別会計 への繰入金支出	0	80	80	
支	投資活動支出	0	503,500	503,500	
	基本財産取得支出	0	500,000	500,000	
	投資有価証券取得支出	0	500,000	500,000	
	固定資産取得支出	0	3,500	3,500	
	車両運搬具購入支出	0	3,500	3,500	
	予備費支出	0	66,117	66,117	
出	当期支出合計(C)	98,703	614,716	516,013	
	当期収支差額(A) - (C)	0	74,978	74,978	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	33,454	0	33,454	

財団法人 鳥取県文化振興財団
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(倉吉未来中心特別会計)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
収 入		千円	千円	千円	
	事業活動収入	248,709	227,472	21,237	
	1 管理運営事業収入	48,468	48,800	332	
	(1) 利用料収入	44,394	44,900	506	
	(2) 手数料収入	4,064	3,900	164	
	(3) 入場料・参加料収入	10	0	10	
	2 補助金等収入	200,241	178,592	21,649	
	(1) 県受託収入	109,852	88,398	21,454	
	(2) 市町村受託収入	90,389	90,194	195	
	他会計からの繰入金収入	0	80	80	
	一般会計からの繰入金収入	0	80	80	
	当期収入合計(A)	248,709	227,472	21,237	
	前期繰越収支差額	59,881	0	59,881	
	収入合計(B)	308,590	227,472	81,118	
支 出	事業活動支出	248,709	211,486	37,223	
	1 管理費支出	248,709	211,406	37,303	
	(1) 職員給与費	78,458	54,663	23,795	
	(2) 事務費	170,251	156,743	13,508	
	事業費支出	0	80	80	
	梨記念館残務事務支出	0	80	80	
	予備費支出	0	15,986	15,986	
当期支出合計(C)	248,709	227,472	21,237		
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0		
次期繰越収支差額(B) - (C)	59,881	0	59,881		

(注) 債務負担額 88,164千円

財団法人 鳥取県文化振興財団
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(文化振興事業基金特別会計)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
入		千円	千円	千円	
	事業活動収入	64,189	0	64,189	
	1 雑収入	1	0	1	
	(1) 受取利息収入	1	0	1	
	2 他会計からの繰入金収入	64,188	0	64,188	
	(1) 一般会計からの繰入金収入	64,188	0	64,188	
	当期収入合計(A)	64,189	0	64,189	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	64,189	0	64,189	
	支	事業活動支出	11,958	0	11,958
1 他会計への繰入金支出		11,958	0	11,958	
(1) 県民文化会館特別会計への繰入金支出		11,958	0	11,958	
当期支出合計(C)		11,958	0	11,958	
当期収支差額(A) - (C)		52,231	0	52,231	
次期繰越収支差額(B) - (C)	52,231	0	52,231		

(4) 財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|--|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館 |
| 2 目的 | 多様化する県民の文化に対する要求に応えるため、童謡・おもちゃを通じた各種文化振興事業を行い、もって童謡・おもちゃをテーマとした特色ある地域文化の振興に資することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 平成6年10月1日 |
| 4 設立登記年月日 | 平成6年10月3日 |
| 5 基本財産 | 出えん金 24,000,000円
鳥取県出えん金 12,000,000円
鳥取市出えん金 12,000,000円 |
| 6 役員 | 理事 10人 監事 2人
理事長 神戸直樹(わらべ館館長)
副理事長 大村明子
理事 白石由美子(鳥取短期大学幼児教育保育学科教授)
" 榎田郁子(鳥取県子ども会育成連絡会副会長)
" 衣笠克則(鳥取県文化観光局長)
" 杉本邦利(鳥取市企画推進部長)
" 中永廣樹(鳥取県教育委員会教育長)
" 中川俊隆(鳥取市教育委員会教育長)
" 鎌谷真里子(鳥取県レクリエーション協会事務局長)
" 長谷川重隆(日本人形玩具協会正会員)
監事 古賀裕子
" 中島稔(鳥取市土地開発公社理事長) |
| 7 職員 | 12人(うち県派遣職員 1人) |
| 8 事務所 | 鳥取市西町三丁目202番地 |

二 平成18年度事業実施状況

1 県立童謡館及び市立鳥取世界おもちゃ館（愛称「わらべ館」）の管理運営の受託

2 童謡・おもちゃをテーマにした各種事業の実施

わらべ館ファミリーコンサート、わらべ館唱歌教室など童謡・おもちゃをテーマに企画した事業を実施した。

ギャラリー童夢企画展報告書「万遊鏡」を発行した。

3 童謡・おもちゃについての調査及び研究に関する事業の実施

郷土出身の音楽家に関する調査及び童謡やおもちゃに関する資料収集等を実施した。

童謡・唱歌研究情報誌「音夢」を発行した。

4 童謡・おもちゃについての啓発及び普及に関する事業の実施

わらべ館情報誌「わらべプレス」の発行及び来館者参加型イベント等を実施した。

**財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館
収 支 計 算 書**

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考	
		円	円	円		
収 入	事業活動収入	195,970,000	165,911,584	30,058,416		
	1 基本財産運用収入	9,000	14,400	5,400		
	(1) 基本財産利息収入	9,000	14,400	5,400		
	2 事業収入	25,980,000	24,340,320	1,639,680		
	(1) 文化事業収入	25,980,000	24,340,320	1,639,680		
	3 補助金等収入	169,979,000	140,574,454	29,404,546		
	(1) 県受託収入	87,361,000	71,413,405	15,947,595		
	(2) 市町村受託収入	82,618,000	69,161,049	13,456,951		
	4 雑収入	2,000	982,410	980,410		
	(1) 受取利息収入	1,000	27,375	26,375		
	(2) 雑収入	1,000	955,035	954,035		
		当期収入合計(A)	195,970,000	165,911,584	30,058,416	
		前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	195,970,000	165,911,584	30,058,416		

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	事業活動支出	195,968,000	165,911,584	30,056,416	
	1 管理費支出	160,117,000	140,632,243	19,484,757	
	(1) 職員給与費	81,451,000	77,725,959	3,725,041	
	(2) 事務局費	5,063,000	4,741,370	321,630	
	(3) 施設管理費	73,603,000	58,164,914	15,438,086	
	2 事業費支出	35,851,000	25,279,341	10,571,659	
	(1) 企画実施事業費	16,709,000	12,815,832	3,893,168	
	(2) 調査研究事業費	5,017,000	3,359,734	1,657,266	
	(3) 啓発普及事業費	14,125,000	9,103,775	5,021,225	
支	予備費支出	2,000	0	2,000	
出					
	当期支出合計(C)	195,970,000	165,911,584	30,058,416	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	39,075,760	負債	39,075,760
1 現金預金	38,184,785	1 流動負債	39,075,760
(1) 現金	427,090	(1) 未払金	9,066,939
(2) 普通預金	37,757,695	(2) 預り金	366,865
2 未収金	590,114	(3) 仮受金	29,404,546
3 前払金	300,861	(4) 前受金	237,410
固定資産	24,000,000	正味財産	24,000,000
1 基本財産	24,000,000	(うち基本金)	(24,000,000)
(1) 基本財産定期預金	24,000,000	(当期正味財産増加額)	(0)
合 計	63,075,760	合 計	63,075,760

三 平成19年度事業計画

1 県立童謡館及び市立鳥取世界おもちゃ館（愛称「わらべ館」）の管理運営の受託

2 童謡・おもちゃをテーマにした各種事業の実施

わらべ館ファミリーコンサート、わらべ館唱歌教室など童謡・おもちゃをテーマに企画した事業を実施する。

3 童謡・おもちゃについての調査及び研究に関する事業の実施

郷土出身の音楽家に関する調査及び童謡やおもちゃに関する資料収集等を行う。

4 童謡・おもちゃについての啓発及び普及に関する事業の実施

わらべ館研究情報誌の発行及び来館者参加型イベント等を実施する。

財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
収 入		千円	千円	千円	
	事業活動収入	194,661	195,970	1,309	
	1 基本財産運用収入	70	9	61	
	(1) 基本財産利息収入	70	9	61	
	2 事業収入	25,289	25,980	691	
	(1) 文化事業収入	25,289	25,980	691	
	3 補助金等収入	168,670	169,979	1,309	
	(1) 県受託収入	86,707	87,361	654	
	(2) 市町村受託収入	81,963	82,618	655	
	4 雑収入	632	2	630	
	(1) 受取利息収入	4	1	3	
	(2) 雑収入	628	1	627	
		当期収入合計(A)	194,661	195,970	1,309
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	194,661	195,970	1,309	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	事業活動支出	193,661	195,968	2,307	
	1 管理費支出	152,301	160,117	7,816	
	(1) 職員給与費	75,307	81,451	6,144	
	(2) 事務局費	5,333	5,063	270	
	(3) 施設管理費	71,661	73,603	1,942	
	2 事業費支出	41,360	35,851	5,509	
	(1) 企画実施事業費	18,324	16,709	1,615	
	(2) 調査研究事業費	7,556	5,017	2,539	
	(3) 啓発普及事業費	15,480	14,125	1,355	
支	予備費支出	1,000	2	998	
出					
	当期支出合計(C)	194,661	195,970	1,309	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

(注) 1 借入金限度額 10,000千円

2 債務負担額 59,270千円

(5) 財団法人 鳥取県国際交流財団経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|--|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取県国際交流財団 |
| 2 目 的 | 本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行い、県民・民間団体・行政が一体となって全県的な国際交流活動を推進することにより、国際性豊かな県民の育成と地域の活性化を図るとともに、世界に開かれ、世界に貢献する鳥取県づくりに寄与することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 平成2年11月1日 |
| 4 設立登記年月日 | 平成2年11月2日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 630,698,717円
鳥取県出えん金 500,320,000円
関係市町村出えん金 100,000,000円
民間団体出えん金 30,378,717円 |
| 6 役 員 | 理 事 16人 監 事 2人
理 事 長 永 瀬 正 治（鳥取県日韓親善協会連合会会長）
副理事長 藤 井 喜 臣（鳥取県副知事）
常務理事 岩 本 恭 昌
理 事 長 井 勇喜夫（株式会社山陰合同銀行代表取締役専務）
" 坂 本 洋 二（株式会社鳥取銀行常務執行役員）
" 鷲 見 邦 弘（鳥取県信用金庫協会会長）
" 神 鳥 高 世（社団法人鳥取県医師会常任理事）
" 西 原 昌 彦（社会福祉法人鳥取県厚生事業団理事長）
" 若 松 昇（日本放送協会鳥取放送局長）
" 若 良 二（国立大学法人鳥取大学国際交流センター長）
" 岡 村 能里子（鳥取県日仏友好協会事務局長）
" 渡 邊 眞 子（ドイツを語る会事務局長）
" 山 口 とも子（有識者）
" 高 増 華（リコーソフトウェア株式会社社員） |

理 事 アベ 山田 マリア ルイサ

(国立大学法人鳥取大学非常勤講師)

” 志 直 瑞 穂 (青年海外協力隊鳥取県OV会会員)

監 事 藤 本 英 興 (鳥取信用金庫理事長)

” 松 田 道 昭 (有識者)

7 職 員 13人(うち県派遣職員 1人、県職員と併任 4人)

8 事 務 所 本 所 鳥取市湖山町西四丁目 110番地5

倉吉事務所 倉吉市東巖城町2番地

米子事務所 米子市末広町294番地

二 平成18年度事業実施状況

【一般会計】

県民の国際理解を深め、また、国際交流の推進に資するため、次の事業を実施した。

1 鳥取県国際交流財団運営事業

鳥取空港国際会館内の国際交流センター、中部総合事務所別館内の倉吉事務所及び米子コンベンションセンター内の米子事務所の運営を行った。また、外国人コーディネーターの配置により、業務の充実を図った。

2 情報収集・提供事業

ホームページの運営（日本語・英語・中国語版）、メールマガジン（日本語・英語・中国語版）や機関紙「とっとり国際通信」の発行を通じて、県民及び在住外国人への情報提供を行った。また、図書や視聴覚資料、海外新聞や雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸出に供した。

3 交流活動支援事業

民間交流団体等が実施する一般住民を対象とした国際交流・協力事業に対して、協賛事業として助成・支援を行った。また、ボランティア活動を促進・支援するため「通訳ボランティア養成講座」・「ホームステイ受入講座」を開催した。

4 国際化推進事業

地域の国際化を推進するため、小学生と保護者を対象にした「親子国際理解教室」や鳥取空港フェスタ2006で国際色豊かなイベント「ワールドアラカルト」を開催した。

5 海外移住・海外技術協力事業

県費留学生・海外技術研修員等の受入、海外県人会への助成を行った。

6 在住外国人支援事業

留学生を対象にした「オリエンテーション」や私費留学生のための奨学金支給制度の運営のほか、国際交流に関心のある県民や在住外国人が気軽に参加できる「国際交流の夕べ」、日本語学習支援のための「日本語クラスの運営」やボランティアのための「日本語教育講座」、通訳・翻訳・日本語教育・ホームステイなどのボランティア登録制度の運営、在留資格相談窓口の運営を行った。

【山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計】

山陰・夢みなと博覧会記念基金により、県民参加型の国際交流事業への助成（3件）、「とっとり国際塾～認識台湾～」を実施した。

【収益事業特別会計】

米子コンベンションセンター内のパスポートセンターを利用する県民の利便を図るため、米子事務所において収入印紙及び県収入証紙の販売を行った。

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(一般会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
収	事業活動収入	75,704,000	71,774,397	3,929,603	
	1 基本財産運用収入	9,608,000	9,999,714	391,714	
	(1) 基本財産利息収入	9,608,000	9,999,714	391,714	
	2 特定資産運用収入	2,000	2,532	532	
	(1) 特定資産利息収入	2,000	2,532	532	
	3 会費収入	320,000	308,000	12,000	
	(1) 賛助会員会費収入	320,000	308,000	12,000	
	4 事業収入	0	30,400	30,400	
	(1) 国際交流事業収入	0	30,400	30,400	
	5 補助金等収入	64,616,000	61,026,205	3,589,795	
	(1) 県補助金収入	39,983,000	38,996,557	986,443	
	(2) 県受託収入	24,633,000	22,029,648	2,603,352	
	6 負担金収入	150,000	150,000	0	
	(1) J I C A 負担金収入	150,000	150,000	0	
7 寄附金収入	1,000,000	233,000	767,000		
(1) 寄附金収入	1,000,000	233,000	767,000		
8 雑収入	8,000	24,546	16,546		
(1) 受取利息収入	8,000	24,546	16,546		
入	投資活動収入	469,000	305,264,317	304,795,317	
	1 基本財産取崩収入	0	304,585,717	304,585,717	
	(1) 基本財産債券等取崩収入	0	304,585,717	304,585,717	
	2 特定資産取崩収入	469,000	468,600	400	
	(1) 退職給付積立金取崩収入	469,000	468,600	400	
	3 敷金・保証金戻り収入	0	210,000	210,000	
(1) 敷金戻り収入	0	210,000	210,000		
	当期収入合計(A)	76,173,000	377,038,714	300,865,714	
	前期繰越収支差額	2,422,000	2,421,233	767	
	収入合計(B)	78,595,000	379,459,947	300,864,947	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	事業活動支出	75,299,000	68,747,214	6,551,786	
	1 管理費支出	5,443,000	4,852,300	590,700	
	(1) 職員給与費	770,000	993,137	0	その他経費より
		223,137			223,137円
	(2) その他経費	4,673,000	3,859,163	590,700	職員給与へ
		223,137			223,137円
	2 事業費支出	69,856,000	63,894,914	5,961,086	
	(1) 職員給与費	23,039,000	23,366,884	0	財団運営費より
		327,884			327,884円
	(2) 財団運営費	19,564,000	17,821,575	1,414,541	職員給与へ
		327,884			327,884円
	(3) 情報収集提供事業費	4,334,000	3,788,797	545,203	
	(4) 交流活動支援事業費	4,348,000	3,053,317	1,294,683	
	(5) 国際化推進事業費	387,000	287,246	99,754	
	(6) 海外移住・海外技術協力事業費	12,689,000	11,335,333	1,353,667	
	(7) 在住外国人支援事業費	5,495,000	4,241,762	1,253,238	
	投資活動支出	3,296,000	307,425,437	304,129,437	
	1 基本財産取得支出	1,000,000	304,818,717	303,818,717	
	(1) 基本財産債券等取得支出	1,000,000	304,818,717	303,818,717	
	2 特定資産取得支出	1,314,000	1,309,720	4,280	
	(1) 退職給付積立金取得支出	1,314,000	1,309,720	4,280	
	3 財源調整積立資産取得支出	982,000	982,000	0	
	4 固定資産取得支出	0	315,000	315,000	
	(1) 什器備品取得支出	0	315,000	315,000	
支	当期支出合計(C)	78,595,000	376,172,651	297,577,651	
出	当期収支差額(A) - (C)	2,422,000	866,063	3,288,063	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	3,287,296	3,287,296	

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(一般会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	8,925,909	負 債	11,273,273
1 現金預金	8,920,813	1 流動負債	5,638,613
(1) 普通預金	8,920,813	(1) 未払金	4,825,462
2 未収金	5,096	(2) 前受会費	22,000
		(3) 預り金	381,046
固定資産	665,660,754	(4) 仮受金	3,005
1 基本財産	630,698,717	(5) 未払消費税等	407,100
(1) 基本財定期預金	58,717	2 固定負債	5,634,660
(2) 基本財産投資有価証券	630,640,000	(1) 退職給付引当金	5,634,660
2 特定資産	5,634,660	正味財産	663,313,390
(1) 退職給付積立資産	5,634,660	(うち基本金)	(630,698,717)
3 その他の固定資産	29,327,377	(当期正味財産減少額)	(661,819)
(1) 車両運搬具	41,200		
(2) 什器備品	538,190		
(3) 財源調整積立資産	28,397,035		
(4) 電話加入権	224,952		
(5) 敷金	126,000		
合 計	674,586,663	合 計	674,586,663

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
入		円	円	円	
	事業活動収入	12,198,000	12,216,360	18,360	
	1 基本財産運用収入	12,197,000	12,201,509	4,509	
	(1) 基本財産利息収入	12,197,000	12,201,509	4,509	
	2 雑収入	1,000	14,851	13,851	
	(1) 受取利息収入	1,000	14,851	13,851	
	当期収入合計(A)	12,198,000	12,216,360	18,360	
	前期繰越収支差額	23,274,000	23,273,640	360	
	収入合計(B)	35,472,000	35,490,000	18,000	
	出	事業活動支出	8,715,000	7,448,380	1,266,620
1 事業費支出		8,715,000	7,448,380	1,266,620	
(1) とっとり国際塾事業費		3,946,000	3,608,301	337,699	
(2) 国際交流助成事業		4,269,000	3,660,000	609,000	
(3) 事務局費		500,000	180,079	319,921	
投資活動支出		18,208,000	18,208,000	0	
1 特定資産取得支出		18,208,000	18,208,000	0	
(1) 基金積立資産取得支出		18,208,000	18,208,000	0	
予備費支出		8,549,000	0	8,549,000	
当期支出合計(C)		35,472,000	25,656,380	9,815,620	
当期収支差額(A) - (C)	23,274,000	13,440,020	9,833,980		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	9,833,620	9,833,620		

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	9,886,130	負 債	52,510
1 現金預金	9,851,421	1 流動負債	52,510
(1)普通預金	9,851,421	(1)未払金	52,510
2 未収金	34,709		
固定資産	954,305,188	正味財産	964,138,808
1 特定資産	744,208,000	(当期正味財産増加額)	(4,570,118)
(1)山陰・夢みなと博覧会 記念基金積立定期預金	92,208,000		
(2)山陰・夢みなと博覧会 記念基金投資有価証券	652,000,000		
2 その他の固定資産	210,097,188		
(1)什器備品	97,188		
(2)長期貸付金	210,000,000		
合 計	964,191,318	合 計	964,191,318

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(収益事業特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
入		円	円	円	
	事業活動収入	72,963,000	72,058,694	904,306	
	1 事業収入	72,962,000	72,057,741	904,259	
	(1) 印紙等売りさばき事業収入	71,792,000	70,832,900	959,100	
	(2) 印紙等売りさばき事業手数料収入	1,170,000	1,224,841	54,841	
	2 雑収入	1,000	953	47	
	(1) 受取利息収入	1,000	953	47	
	当期収入合計(A)	72,963,000	72,058,694	904,306	
	前期繰越収支差額	808,000	807,046	954	
	収入合計(B)	73,771,000	72,865,740	905,260	
支	事業活動支出	73,771,000	72,865,740	905,260	
	1 事業費支出	73,771,000	72,074,240	1,696,760	
	(1) 職員給与費	1,318,000	764,515	256,985	印紙等売りさばき事業費へ
		296,500			296,500円
	(2) 印紙等売りさばき事業費	661,000	95,225	862,275	職員給与費より
		296,500			296,500円
	(3) 印紙等購入事業費	71,792,000	71,214,500	577,500	
2 法人税、地方税等支出	0	791,500	791,500		
当期支出合計(C)	73,771,000	72,865,740	905,260		
当期収支差額(A) - (C)	808,000	807,046	954		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(収益事業特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	746,400	負 債	297,300
1 現金預金	227,500	1 流動負債	297,300
(1)現金	227,500	(1)未払法人税等	297,300
2 未収金	66,795		
3 仮払金	3,005	正味財産	449,100
4 棚卸資産	449,100	(当期正味財産減少額)	(425,446)
合 計	746,400	合 計	746,400

三 平成19年度事業計画

【一般会計】

1 管理運営関係

- (1) 全県的な国際化推進のため、鳥取事務所（本所：鳥取県国際交流センター）、倉吉事務所及び米子事務所を運営する。
- (2) 在住外国人の母国語による生活相談などのニーズに応じるため、英語・中国語圏の国際交流コーディネーターを配置する。

2 情報収集・提供事業

(1) ホームページの運営とメールマガジンの配信

財団の情報を迅速に提供・公開し、地域における国際交流のための情報交換や外国人が生活していく上で必要な生活情報を盛り込んだホームページ（日本語・英語・中国語版）を運営する。併せて、国際交流イベントなどの情報を速報的に読者に提供するためのメールマガジン（日本語・英語・中国語版）を配信する。また国際交流センター内において、情報検索のためのパソコン（インターネット）を利用者に無料開放する。

(2) 機関紙の発行

財団の活動状況や地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」を隔月刊で発行する。（年6回、A4 2色刷、8ページ）

(3) 図書・資料の収集

国際交流に関する一般図書や日本語教材、外国語の新聞・雑誌等を整備し、利用者の貸し出しに供する。

3 交流活動支援事業

(1) 民間国際交流・協力事業促進事業

民間国際交流・協力団体が実施する県民参加型の交流事業や学術研究機関の調査研究事業等を支援するため、対象経費の2分の1（上限100万円）を負担し、地域における国際化を推進する。

(2) ボランティア活用促進支援事業

ホームステイなどのボランティア登録をしても、「経験がない、慣れていない」などの理由で活動を躊躇されるケースが多いことから、受入に関する心がまえや一般的なマナーなどとともに異文化コミュニケーションや文化事情などについて学ぶ講座を開催し、活動促進を図るとともに、新たな登録家庭の開拓につなげる。

(3) チャットサロンの開催

在住外国人をゲストに招いて、県民が外国語で気軽に会話をしたり、異文化事情についての理解を深める「チャットサロン」を開催する。

(4) 国際交流・協力団体連絡会議の開催

県内に拠点を置く国際交流・協力団体が連携して活動していくために必要な連絡調整や情報交換を行う会議を開催する。

(5) 地域国際化協会ブロック会議への参加

中・四国地方の地域国際化協会、財団法人自治体国際化協会が一堂に会し、それぞれの抱える問題点などについて意見交換するとともに、今後の課題について協議を行う。

4 国際化推進事業

(1) ワールドアラカルトの開催

鳥取空港「空の日」のイベント（9月20日前後）にあわせて、民族芸能等のパフォーマンスやクイズなど国際色あふれる体験の場や異文化交流の場を提供する。

5 海外移住・海外技術協力事業

(1) 海外技術研修員等の受入

県から委託を受けて、県内で技術研修を行う研修員等の受入を実施する。

< ブラジル交流促進事業海外技術研修員 > 1名（ブラジル）

< 鳥取県海外協力推進事業海外技術研修員 > 1名（モンゴル）

< 自治体職員協力交流研修員 > 1名（中国）

(2) 海外県人会への助成

ブラジル鳥取県人会、南加鳥取クラブ、サンフランシスコ鳥取県人会に対して会員間の交流を密にし、福祉の向上を図るための活動費助成を行う。

(3) 青少年国際協力支援事業

広く一般県民に国際協力活動への理解と青年海外協力隊への参加を呼びかけるため、帰国報告会を開催する青年海外協力隊鳥取県O V会に対する助成事業、普及広報事業等を行う。

6 在住外国人支援事業

(1) 私費留学生奨学金支給制度の運営

県内高等教育機関に在籍する私費留学生に対し奨学金（月額2万円）を支給し、勉学生活を支援する。なお、受給留学生には「国際交流活動ボランティア」として、地域の国際交流活動への貢献を促す。

(2) 多文化共生支援事業

県内における在住外国人の増加に伴う地域社会の多様化に対応するため、異なる文化背景を持つ人々が互いの差異を認め合い尊重しながらよりよく生活していくための「多文化共生の地域づくり」を目指して、関係機関連絡調整会議を開催して連携を図るとともに、多文化共生サポーターワークショップによる人材育成と体制整備、既存の相談窓

口へ通訳サポーターを派遣する外国人相談支援事業を行う。

(3) 国際交流の集い

在住外国人と県民が気軽に参加できる交流会を開催し、地域における国際化を推進する。

(4) 留学生オリエンテーションの開催

来日間もない留学生を対象に、4月と10月の入学時期にあわせて日常生活に関するオリエンテーションを鳥取大学・鳥取市国際交流プラザと連携して開催する。

(5) 日本語クラスの運営（東部3クラス・中部2クラス・西部2クラス）

在住外国人の日本語学習希望者の増加と学習レベルの多様性に対応するため、専任講師によるクラス形式の日本語教室を運営する。

(6) 日本語講師養成講座の開催

地域の日本語教育の中核となる人材育成や日本語ボランティアのスキルアップを目的とした研修講座を開催する。

(7) ボランティア登録制度の運営

通訳・翻訳、日本語教育、交流活動、ホームステイ・ビジット、ホストファミリーの登録及び活動の場の紹介を行う。

【山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計】

山陰・夢みなと博覧会記念基金により、県民参加型の国際交流活動等への助成事業と自主事業として「とっとり国際塾」を実施する。

1 山陰・夢みなと博覧会記念基金助成事業

民間国際交流・協力団体が実施する比較的大規模な県民参加型事業を支援するため、海外渡航費の3分の1（米子ソウル便利用の場合は2分の1）に他の助成対象経費の2分の1を加えた額を負担（下限100万円、上限は一般事業が300万円、青少年事業が500万円）する。

2 とっとり国際塾

海外におけるスタディーツアー及び事前の公開講座により、その歴史や文化を学ぶとともに、現地の人々との交流を通して民間交流の促進と県民の国際理解に対する意識啓発を図る。

平成19年度は、県内においても近年在住外国人の増加が著しいことを背景として、多民族国家であるオーストラリアの定住者や移民に対する施策について学び、「多文化共生」に対する県民の理解を深める。

【収益事業特別会計】

米子コンベンションセンター内のパスポートセンターを利用する県民の利便を図るため、米子事務所内において収入印紙及び県収入証紙の販売を行う。

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(一般会計)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収	事業活動収入	78,010	75,704	2,306	
	1 基本財産運用収入	6,569	9,608	3,039	
	(1) 基本財産利息収入	6,569	9,608	3,039	
	2 特定資産運用収入	2	2	0	
	(1) 特定資産利息収入	2	2	0	
	3 会費収入	320	320	0	
	(1) 賛助会員会費収入	320	320	0	
	4 補助金等収入	70,111	64,616	5,495	
	(1) 県補助金収入	46,213	39,983	6,230	
	(2) 県受託収入	22,398	24,633	2,235	
	(3) 民間助成金収入	1,500	0	1,500	
	5 寄附金収入	1,000	1,000	0	
	(1) 寄附金収入	1,000	1,000	0	
	6 雑収入	8	8	0	
	(1) 受取利息収入	8	8	0	
負担金収入	0	150	150		
J I C A 負担金収入	0	150	150		
入	投資活動収入	275,350	469	274,881	
	1 基本財産取崩収入	275,350	0	275,350	
	(1) 基本財産債券等取崩収入	275,350	0	275,350	
	特定資産取崩収入	0	469	469	
	退職給付積立金取崩収入	0	469	469	
	入				
	当期収入合計(A)	353,360	76,173	277,187	
	前期繰越収支差額	3,288	2,422	866	
	収入合計(B)	356,648	78,595	278,053	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	事業活動支出	79,040	75,299	3,741	
	1 管理費支出	3,083	5,443	2,360	
	(1) 職員給与費	135	770	635	
	(2) その他経費	2,948	4,673	1,725	
	2 事業費支出	75,957	69,856	6,101	
	(1) 職員給与費	24,452	23,039	1,413	
	(2) 財団運営費	21,838	19,564	2,274	
	(3) 情報収集提供事業費	4,623	4,334	289	
	(4) 交流活動支援事業費	5,737	4,348	1,389	
	(5) 国際化推進事業費	101	387	286	
支	(6) 海外移住・海外技術協力事業費	10,758	12,689	1,931	
	(7) 在住外国人支援事業費	8,448	5,495	2,953	
	投資活動支出	277,608	3,296	274,312	
	1 基本財産取得支出	276,350	1,000	275,350	
	(1) 基本財産債券等取得支出	276,350	1,000	275,350	
	2 特定資産取得支出	1,258	1,314	56	
	(1) 退職給付積立金取得支出	1,258	1,314	56	
出	財源調整積立資産取得支出	0	982	982	
	当期支出合計(C)	356,648	78,595	278,053	
	当期収支差額(A) - (C)	3,288	2,422	866	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
入		千円	千円	千円		
	事業活動収入	12,499	12,198	301		
	1 基本財産運用収入	12,498	12,197	301		
	(1) 基本財産利息収入	12,498	12,197	301		
	2 雑収入	1	1	0		
	(1) 受取利息収入	1	1	0		
	投資活動収入	18,208	0	18,208		
	1 特定資産取崩収入	18,208	0	18,208		
	(1) 基金積立資産取崩収入	18,208	0	18,208		
	当期収入合計(A)	30,707	12,198	18,509		
	前期繰越収支差額	9,834	23,274	13,440		
	収入合計(B)	40,541	35,472	5,069		
	支	事業活動支出	16,819	8,715	8,104	
		1 事業費支出	16,819	8,715	8,104	
(1) とっとり国際塾事業費		7,693	3,946	3,747		
(2) 国際交流助成事業		8,626	4,269	4,357		
(3) 事務局費		500	500	0		
投資活動支出		18,208	18,208	0		
1 特定資産取得支出		18,208	18,208	0		
(1) 基金積立資産取得支出		18,208	18,208	0		
予備費支出		3,000	8,549	5,549		
当期支出合計(C)		38,027	35,472	2,555		
当期収支差額(A) - (C)	7,320	23,274	15,954			
次期繰越収支差額(B) - (C)	2,514	0	2,514			

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(収益事業特別会計)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
収 入		千円	千円	千円	
	事業活動収入	72,226	72,963	737	
	1 事業収入	72,225	72,962	737	
	(1) 印紙等売りさばき事業 収入	71,000	71,792	792	
	(2) 印紙等売りさばき事業 手数料収入	1,225	1,170	55	
	2 雑収入	1	1	0	
	(1) 受取利息収入	1	1	0	
	当期収入合計(A)	72,226	72,963	737	
	前期繰越収支差額	0	808	808	
	収入合計(B)	72,226	73,771	1,545	
支 出	事業活動支出	72,226	73,771	1,545	
	1 事業費支出	71,747	73,771	2,024	
	(1) 職員給与費	663	1,318	655	
	(2) 印紙等売りさばき事業 費	84	661	577	
	(3) 印紙等購入事業費	71,000	71,792	792	
	2 法人税、地方税等支出	479	0	479	
	当期支出合計(C)	72,226	73,771	1,545	
当期収支差額(A) - (C)	0	808	808		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

(6) 財団法人 鳥取県観光事業団経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-------------|--|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取県観光事業団 |
| 2 目 的 | 鳥取県が設置する観光・レクリエーション施設を円滑かつ適正に管理運営し、その集客促進を図ることにより、本県の活性化に寄与することを目的とする。 |
| 3 組織変更認可年月日 | 平成9年3月31日
(財団法人 鳥取県都市公園協会設立許可年月日
昭和54年10月12日) |
| 4 組織変更登記年月日 | 平成9年4月1日
(財団法人 鳥取県都市公園協会設立登記年月日
昭和54年10月18日) |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 500,000円
鳥取県出えん金 500,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 13人 監 事 2人
理 事 長 岡 森 裕
副理事長 長谷川 泰 二(財団法人とっとりコンベンション
ビューロー専務理事)
理 事 清 末 忠 人(鳥取生物友の会会長)
" 西 山 見和子(NPO法人子ども未来ネットワー
ク副理事長)
" 野 田 邦 弘(国立大学法人鳥取大学地域学部教
授)
" 榊 田 知 身(境港市観光協会会長)
" 安 田 寿 朗(弁護士)
" 山 本 ルリコ(とっとり次世代コム代表)
" 中 村 恭 久(三朝温泉観光協会副本部長)
" 内 田 雄一朗(鳥取県経済同友会西部地区常任幹
事)
" 遠 藤 美 絵(合同会社めぐみ代表)
" 中 野 喜美子(創作工房中野竹藝) |

理事 青木 由紀子 (湯梨浜町商工会女性部副部長)

監事 馬 壁 聰之介

” 浦 林 梅 樹

7 職 員 43人 (うち県退職職員 3人)

8 事 務 所	事 務 局 本 部	西伯郡南部町鶴田 1 1 0 番地
	鳥 取 事 務 所	鳥取市東町二丁目 3 0 8 番地
	鳥取砂丘こどもの国	鳥取市浜坂 1 1 5 7 番地 1
	氷ノ山自然ふれあい館	八頭郡若桜町大字つく米 6 3 5 番地 1 7 5
	東郷湖羽合臨海公園	東伯郡湯梨浜町大字藤津 6 5 0 番地
	中国庭園燕趙園	東伯郡湯梨浜町大字引地 5 6 5 番地 1
	夢みなとタワー	境港市竹内団地 2 5 5 番地 3
	とっとり花回廊	西伯郡南部町鶴田 1 1 0 番地

二 平成18年度事業実施状況

1 県から次の県立観光施設の管理運営に関する事務を受託した。

(1) 受託施設

鳥取砂丘こどもの国

氷ノ山自然ふれあい館

東郷湖羽合臨海公園（財団法人鳥取県観光事業団・株式会社チュウブ共同企業体）

中国庭園燕趙園

夢みなとタワー（財団法人鳥取県観光事業団・ホテルサンルート米子共同企業体）

とっとり花回廊

(2) 受託事務

受託施設に係る利用・集客促進に関すること。

受託施設の維持管理に関すること。

受託施設の料金等の徴収に関すること。

施設の利用者に対する供用上の指導等に関すること。

その他、受託施設の全てに付帯する事務に関すること。

2 受託施設の利用・集客促進及び入園・入館者等の便益を図るための事業を行った。

(1) 文化・スポーツ等各種催事

(2) 友好国及び関係機関等との交流事業

(3) 観光・レクリエーション関係団体等との共同事業

(4) 売店等による物品販売業務

財団法人 鳥取県観光事業団
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	事業活動収入	1,353,144,000	1,358,482,488	5,338,488	
	1 基本財産運用収入	1,000	200	800	
	(1) 基本財産利息収入	1,000	200	800	
	2 事業収入	681,029,000	686,365,516	5,336,516	
	(1) 利用料金収入	369,693,000	371,217,370	1,524,370	
	鳥取砂丘こどもの国	29,605,000	29,956,800	351,800	
	中国庭園燕趙園	53,521,000	53,363,400	157,600	
	夢みなとタワー	15,087,000	15,166,320	79,320	
	とっとり花回廊	271,480,000	272,730,850	1,250,850	
収	(2) 使用料収入	74,632,000	74,718,483	86,483	
	鳥取砂丘こどもの国	16,752,000	16,845,345	93,345	
	氷ノ山自然ふれあい館	35,000	37,600	2,600	
	東郷湖羽合臨海公園	6,669,000	6,773,100	104,100	
	中国庭園燕趙園	1,412,000	1,444,350	32,350	
	夢みなとタワー	4,483,000	4,668,252	185,252	
	とっとり花回廊	45,281,000	44,949,836	331,164	
	(3) 参加料収入	38,668,000	38,622,825	45,175	
	鳥取砂丘こどもの国	10,030,000	10,141,400	111,400	
	氷ノ山自然ふれあい館	424,000	424,950	950	
	東郷湖羽合臨海公園	489,000	484,500	4,500	
	中国庭園燕趙園	297,000	329,600	32,600	
	夢みなとタワー	2,746,000	2,775,000	29,000	
	とっとり花回廊	24,682,000	24,467,375	214,625	
	(4) 売店営業収入	177,541,000	180,044,574	2,503,574	
	鳥取砂丘こどもの国	625,000	614,120	10,880	
	中国庭園燕趙園	17,684,000	18,071,240	387,240	
	夢みなとタワー	1,935,000	1,970,300	35,300	
	とっとり花回廊	157,297,000	159,388,914	2,091,914	
入	(5) 手数料収入	20,495,000	21,762,264	1,267,264	
	鳥取砂丘こどもの国	3,071,000	3,155,553	84,553	

科目	予算額	決算額	差異	備考
	円	円	円	
氷ノ山自然ふれあい館	152,000	156,986	4,986	
東郷湖羽合臨海公園	3,961,000	4,222,686	261,686	
中国庭園燕趙園	365,000	371,982	6,982	
夢みなとタワー	697,000	709,336	12,336	
とっとり花回廊	12,249,000	13,145,721	896,721	
3 補助金等収入	671,602,000	671,602,000	0	
(1) 管理運営受託収入	671,602,000	671,602,000	0	
鳥取砂丘こどもの国	80,604,000	80,604,000	0	
氷ノ山自然ふれあい館	48,076,000	48,076,000	0	
東郷湖羽合臨海公園	99,970,000	99,970,000	0	
中国庭園燕趙園	39,047,000	39,047,000	0	
夢みなとタワー	113,905,000	113,905,000	0	
とっとり花回廊	290,000,000	290,000,000	0	
4 雑収入	512,000	514,772	2,772	
(1) 雑収入	512,000	514,772	2,772	
本部	225,000	225,684	684	
鳥取砂丘こどもの国	91,000	92,063	1,063	
氷ノ山自然ふれあい館	14,000	13,333	667	
東郷湖羽合臨海公園	32,000	32,507	507	
中国庭園燕趙園	16,000	16,633	633	
夢みなとタワー	86,000	88,495	2,495	
とっとり花回廊	48,000	46,057	1,943	
投資活動収入	21,067,000	21,067,535	535	
1 特定資産取崩収入	21,067,000	21,067,535	535	
(1) 退職給与引当資産取崩収入	21,067,000	21,067,535	535	
当期収入合計(A)	1,374,211,000	1,379,550,023	5,339,023	
前期繰越収支差額	218,978,000	218,977,516	484	
収入合計(B)	1,593,189,000	1,598,527,539	5,338,539	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	事業活動支出	1,385,230,000	1,362,818,089	22,411,911	
	1 管理費支出	1,079,223,000	1,061,860,368	17,362,632	
	(1) 職員給与費	472,992,000	469,494,453	3,497,547	
	本部	35,535,000	34,945,073	589,927	
	鳥取砂丘こどもの国	61,394,000	61,364,124	29,876	
	氷ノ山自然ふれあい館	23,972,000	23,964,184	7,816	
	東郷湖羽合臨海公園	31,612,000	32,622,645	6,355	施設管理費より
		1,017,000			1,017,000円
	中国庭園燕趙園	36,427,000	36,233,338	193,662	
	夢みなとタワー	33,220,000	32,713,822	506,178	
	とっとり花回廊	249,815,000	247,651,267	2,163,733	
	(2) 施設管理費	481,683,000	472,190,728	9,492,272	
	本部	77,208,000	76,226,221	981,779	
	鳥取砂丘こどもの国	49,290,000	49,287,947	2,053	
	氷ノ山自然ふれあい館	17,789,000	17,316,421	472,579	
	東郷湖羽合臨海公園	66,943,000	65,742,511	183,489	職員給与費へ
		1,017,000			1,017,000円
	中国庭園燕趙園	31,725,000	31,170,636	106,364	売店営業費へ
		448,000			448,000円
	夢みなとタワー	87,800,000	86,072,802	1,727,198	
	とっとり花回廊	152,393,000	146,374,190	6,018,810	
	(3) 植栽管理費	124,548,000	120,175,187	4,372,813	
	とっとり花回廊	124,548,000	120,175,187	4,372,813	
	2 事業費支出	306,007,000	300,957,721	5,049,279	
	(1) 集客促進事業費	175,812,000	172,152,459	3,659,541	
	鳥取砂丘こどもの国	25,736,000	25,722,729	13,271	
	氷ノ山自然ふれあい館	5,268,000	5,163,601	104,399	
	東郷湖羽合臨海公園	1,935,000	1,930,185	4,815	
	中国庭園燕趙園	29,510,000	28,877,415	37,585	売店営業費へ
		595,000			595,000円
	夢みなとタワー	8,592,000	8,448,296	143,704	
	とっとり花回廊	105,366,000	102,010,233	3,355,767	
	(2) 売店営業費	126,913,000	125,869,944	1,043,056	
	鳥取砂丘こどもの国	447,000	442,619	4,381	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支 出	中国庭園燕趙園	9,651,000	10,681,508	12,492	施設管理費より
		1,043,000			448,000円
					集客促進事業費
					より
					595,000円
	夢みなとタワー	816,000	815,745	255	
	とっとり花回廊	114,956,000	113,930,072	1,025,928	
	(3) 広告宣伝費	3,282,000	2,935,318	346,682	
	本部	3,282,000	2,935,318	346,682	
	投資活動支出	2,245,000	2,235,000	10,000	
	1 固定資産取得支出	2,245,000	2,235,000	10,000	
(1) 器具備品取得支出	2,245,000	2,235,000	10,000		
当期支出合計(C)	1,387,475,000	1,365,053,089	22,421,911		
当期収支差額(A) - (C)	13,264,000	14,496,934	27,760,934		
次期繰越収支差額(B) - (C)	205,714,000	233,474,450	27,760,450		

財団法人 鳥取県観光事業団
収支計算書（施設別）

（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

科 目	本 部	鳥取砂丘 こども の 国	氷ノ山 自然ふれ あい館	東 郷 湖 羽合臨海 公 園	中国庭園 燕 趙 園	夢みなと タワ ー	とっとり 花 回 廊	合 計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
基本財産運用収入	1							1
事業収入		60,713	620	11,481	73,580	25,288	514,683	686,365
1 利用料収入		29,957			53,363	15,166	272,731	371,217
2 使用料収入		16,845	38	6,773	1,444	4,668	44,950	74,718
3 参加料収入		10,141	425	485	330	2,775	24,467	38,623
4 売店営業収入		614			18,071	1,970	159,389	180,044
5 手数料収入		3,156	157	4,223	372	709	13,146	21,763
補助金等収入		80,604	48,076	99,970	39,047	113,905	290,000	671,602
雑収入	226	92	13	33	17	88	46	515
特定預金取崩収入	21,067							21,067
当期収入合計(A)	21,294	141,409	48,709	111,484	112,644	139,281	804,729	1,379,550
前期繰越収支差額								218,977
収入合計(B)								1,598,527
職員給与費	34,945	61,364	23,964	32,623	36,233	32,714	247,651	469,494
施設管理費	76,226	49,288	17,316	65,743	31,171	86,073	146,374	472,191
植栽管理費							120,175	120,175
集客促進事業費		25,723	5,164	1,930	28,878	8,448	102,010	172,153
売店営業費		442			10,682	816	113,930	125,870
広告宣伝費	2,935							2,935
固定資産取得支出							2,235	2,235
当期支出合計(C)	114,106	136,817	46,444	100,296	106,964	128,051	732,375	1,365,053
当期収支差額(A)-(C)	92,812	4,592	2,265	11,188	5,680	11,230	72,354	14,497
次期繰越収支差額(B)-(C)								233,474

財団法人 鳥取県観光事業団
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	348,738,768	負債	180,728,021
1 現金預金	319,372,581	1 流動負債	98,645,950
(1) 現金	14,192,913	(1) 仮受金	647,618
(2) 普通預金	237,261,739	(2) 未払金	97,399,033
(3) 定期預金	67,917,929	(3) 預り金	599,299
2 未収金	7,809,751	2 固定負債	82,082,071
3 仮払金	1,409,908	(1) 退職給与引当金	82,082,071
4 前払金	3,528,160		
5 棚卸資産	16,618,368	正味財産	259,459,398
		(うち基本金)	(500,000)
固定資産	91,448,651	(当期正味財産増加額)	(16,494,747)
1 基本財産	500,000		
(1) 基本財産定期預金	500,000		
2 その他の固定資産	90,948,651		
(1) 器具・備品	8,866,580		
(2) 退職給与引当預金	82,082,071		
合 計	440,187,419	合 計	440,187,419

三 平成19年度事業計画

1 基本方針

平成19年度は指定管理期間の2年目となり、次期申請（平成20年）に向けて事業団の管理運営能力が問われる重要な年である。全知・能・力を傾注しなければ健全経営の指数は達成できない。目標達成のため、全職員が営業マン・営業ウーマンであるとの自覚を持ち、個々の資質の向上を図るとともに、組織としての成果を上げることが求められる。

また、共同事業者等の民間ノウハウの習得、活用を図る。

〔管理運営施設〕

- ・鳥取砂丘こどもの国
- ・氷ノ山自然ふれあい館
- ・東郷湖羽合臨海公園（財団法人鳥取県観光事業団・株式会社チュウブ共同企業体）
- ・中国庭園燕趙園
- ・夢みなとタワー（財団法人鳥取県観光事業団・ホテルサンルート米子共同企業体）
- ・とっとり花回廊

2 関係機関等との連携強化

- (1) 社団法人鳥取県観光連盟（平成19年度から観光プロモーターを設置）との連携、協働
- (2) 各施設に設置している施設改善委員会等の活用
- (3) ボランティア団体、NPOなど地域で活動している団体等の事業参画を推進
- (4) 各地区「観光協会」等の観光関係団体等との共催・合同事業の実施

3 営業方針

- (1) 昨年度の新システムでの営業展開を反省し、各施設の目標数値達成に全力を注ぐ。施設長自ら営業マンとして取り組むとともに、本部並びに各施設全職員が一体になる営業体制を整備し、集客力の向上を図る。
- (2) 効率的な営業体制を確立する。
 - 各地区フロントとの同行セールス
 - 魅力ある商品企画の立案（近隣施設との共同企画等）
 - 鳥取県観光施設連絡協議会、のぞみ会独自企画での合同商品立案
 - 各旅行業者企画担当者、各契約フロント等へのDM資料の配付
- (3) 営業情報を共有化し、営業担当者が全施設の営業もできる体制とする。（営業企画会議を毎月1回（とっとり花回廊、燕趙園、夢みなとタワー）、全体会議を年2回開催）
- (4) 営業とイベント広報の連携を図り、集客促進を一体的に実施する。6～2ヶ月前には旅行業者等へ情報提供できる体制を作る。

- (5) 実績の進行管理と分析、速やかな対応策の実施。
- (6) 県（東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所を含む。）社団法人鳥取県観光連盟及び観光関連機関との連携や情報交換を密にし、誘客を図る。

4 職員研修の実施

- (1) 管理職員研修及び接客研修を定期的の実施し、能力向上を図る。
- (2) セキュリティー、防災等の研修や訓練を適宜行う。
- (3) 公益法人新会計基準初年度であることから、会計・経理研修を数回程度実施する。
- (4) その他、人権研修等を実施する。

財団法人 鳥取県観光事業団
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	事業活動収入	1,427,795	1,353,144	74,651	
	1 基本財産運用収入	1	1	0	
	(1) 基本財産利息収入	1	1	0	
	2 事業収入	761,643	681,029	80,614	
	(1) 利用料金収入	429,032	369,693	59,339	
	鳥取砂丘こどもの国	29,644	29,605	39	
	中国庭園燕趙園	68,310	53,521	14,789	
	夢みなとタワー	20,278	15,087	5,191	
	とっとり花回廊	310,800	271,480	39,320	
	(2) 使用料収入	81,245	74,632	6,613	
	鳥取砂丘こどもの国	17,943	16,752	1,191	
	氷ノ山自然ふれあい館	91	35	56	
	東郷湖羽合臨海公園	6,600	6,669	69	
	中国庭園燕趙園	1,650	1,412	238	
	夢みなとタワー	6,176	4,483	1,693	
	とっとり花回廊	48,785	45,281	3,504	
	(3) 参加料収入	38,794	38,668	126	
	鳥取砂丘こどもの国	10,129	10,030	99	
	氷ノ山自然ふれあい館	612	424	188	
	東郷湖羽合臨海公園	550	489	61	
	中国庭園燕趙園	2,310	297	2,013	
	夢みなとタワー	2,214	2,746	532	
	とっとり花回廊	22,979	24,682	1,703	
	(4) 売店営業収入	187,777	177,541	10,236	
	鳥取砂丘こどもの国	637	625	12	
	中国庭園燕趙園	17,985	17,684	301	
	夢みなとタワー	800	1,935	1,135	
	とっとり花回廊	168,355	157,297	11,058	
	(5) 手数料収入	24,795	20,495	4,300	
	鳥取砂丘こどもの国	3,046	3,071	25	

科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
	千円	千円	千円	
氷ノ山自然ふれあい館	140	152	12	
東郷湖羽合臨海公園	3,900	3,961	61	
中国庭園燕趙園	330	365	35	
夢みなとタワー	863	697	166	
とっとり花回廊	16,516	12,249	4,267	
3 補助金等収入	664,786	671,602	6,816	
(1) 管理運営受託収入	664,786	671,602	6,816	
鳥取砂丘こどもの国	79,604	80,604	1,000	
氷ノ山自然ふれあい館	48,112	48,076	36	
東郷湖羽合臨海公園	97,489	99,970	2,481	
中国庭園燕趙園	37,435	39,047	1,612	
夢みなとタワー	112,146	113,905	1,759	
とっとり花回廊	290,000	290,000	0	
4 負担金収入	612	0	612	
(1) 負担金収入	612	0	612	
5 雑収入	753	512	241	
(1) 雑収入	753	512	241	
本部	720	225	495	
鳥取砂丘こどもの国	2	91	89	
氷ノ山自然ふれあい館	1	14	13	
東郷湖羽合臨海公園	25	32	7	
中国庭園燕趙園	1	16	15	
夢みなとタワー	2	86	84	
とっとり花回廊	2	48	46	
投資活動収入	21,067	21,067	0	
1 特定資産取崩収入	21,067	21,067	0	
(1) 退職給与引当資産取崩収入	21,067	21,067	0	
当期収入合計(A)	1,448,862	1,374,211	74,651	
前期繰越収支差額	205,714	218,978	13,264	
収入合計(B)	1,654,576	1,593,189	61,387	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	事業活動支出	1,448,862	1,385,230	63,632	
	1 管理費支出	1,104,880	1,079,671	25,209	
	(1) 職員給与費	487,231	471,975	15,256	
	本部	18,482	35,535	17,053	
	鳥取砂丘こどもの国	66,712	61,394	5,318	
	氷ノ山自然ふれあい館	24,540	23,972	568	
	東郷湖羽合臨海公園	34,850	31,612	3,238	
	中国庭園燕趙園	37,533	36,427	1,106	
	夢みなとタワー	36,412	33,220	3,192	
	とっとり花回廊	268,702	249,815	18,887	
	(2) 施設管理費	482,486	483,148	662	
	本部	62,787	77,208	14,421	
	鳥取砂丘こどもの国	46,336	49,290	2,954	
	氷ノ山自然ふれあい館	17,414	17,789	375	
	東郷湖羽合臨海公園	68,736	66,943	1,793	
	中国庭園燕趙園	34,517	31,725	2,792	
	夢みなとタワー	90,266	87,800	2,466	
	とっとり花回廊	162,430	152,393	10,037	
	(3) 植栽管理費	135,163	124,548	10,615	
	とっとり花回廊	135,163	124,548	10,615	
	2 事業費支出	343,982	305,559	38,423	
	(1) 集客促進事業費	203,326	176,407	26,919	
	鳥取砂丘こどもの国	23,234	25,736	2,502	
	氷ノ山自然ふれあい館	4,968	5,268	300	
	東郷湖羽合臨海公園	1,455	1,935	480	
	中国庭園燕趙園	41,254	29,510	11,744	
	夢みなとタワー	11,511	8,592	2,919	
	とっとり花回廊	120,904	105,366	15,538	
	(2) 売店営業費	139,805	125,870	13,935	
	鳥取砂丘こどもの国	558	447	111	
	中国庭園燕趙園	11,147	9,651	1,496	
	夢みなとタワー	700	816	116	
	とっとり花回廊	127,400	114,956	12,444	
	(3) 広告宣伝費	851	3,282	2,431	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
支		千円	千円	千円	
	本部	851	3,282	2,431	
	投資活動支出	0	2,245	2,245	
	固定資産取得支出	0	2,245	2,245	
	器具備品取得支出	0	2,245	2,245	
出					
	当期支出合計(C)	1,448,862	1,387,475	61,387	
	当期収支差額(A) - (C)	0	13,264	13,264	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	205,714	205,714	0	

財団法人 鳥取県観光事業団
収支予算書（施設別）

（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

科 目	本 部	鳥取砂丘 こども の 国	氷ノ山 自然ふれ あい館	東 郷 湖 羽合臨海 公 園	中国庭園 燕 趙 園	夢みなと タワ ー	とっとり 花 回 廊	合 計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
基本財産運用収入	1							1
事業収入		61,399	843	11,050	90,585	30,331	567,435	761,643
1 利用料収入		29,644			68,310	20,278	310,800	429,032
2 使用料収入		17,943	91	6,600	1,650	6,176	48,785	81,245
3 参加料収入		10,129	612	550	2,310	2,214	22,979	38,794
4 売店営業収入		637			17,985	800	168,355	187,777
5 手数料収入		3,046	140	3,900	330	863	16,516	24,795
補助金等収入		79,604	48,112	97,489	37,435	112,146	290,000	664,786
負担金収入	612							612
雑収入	720	2	1	25	1	2	2	753
特定預金取崩収入	21,067							21,067
当期収入合計(A)	22,400	141,005	48,956	108,564	128,021	142,479	857,437	1,448,862
前期繰越収支差額								205,714
収入合計(B)								1,654,576
職員給与費	18,482	66,712	24,540	34,850	37,533	36,412	268,702	487,231
施設管理費	62,787	46,336	17,414	68,736	34,517	90,266	162,430	482,486
植栽管理費							135,163	135,163
集客促進事業費		23,234	4,968	1,455	41,254	11,511	120,904	203,326
売店営業費		558			11,147	700	127,400	139,805
広告宣伝費	851							851
当期支出合計(C)	82,120	136,840	46,922	105,041	124,451	138,889	814,599	1,448,862
当期収支差額(A)-(C)	59,720	4,165	2,034	3,523	3,570	3,590	42,838	0
次期繰越収支差額(B)-(C)								205,714

(7) 財団法人 とっとりコンベンションビューロー経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|--|
| 1 名 称 | 財団法人 とっとりコンベンションビューロー |
| 2 目 的 | 鳥取県の有する優れた自然、歴史的・文化的資源を生かし、コンベンションの誘致・支援等を行うことにより、鳥取県におけるコンベンションの振興を図り、もって県内産業の振興、地域の活性化、国際的な相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 平成7年7月7日 |
| 4 設立登記年月日 | 平成7年7月7日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 972,142,000円
鳥取県出えん金 500,000,000円
4市出えん金 250,000,000円
そ の 他 222,142,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 20人 監 事 2人
理 事 長 永 瀬 正 治 (米子商工会議所会頭)
副理事長 井 藤 久 雄 (国立大学法人鳥取大学副学長)
専務理事 長谷川 泰 二
理 事 谷 口 博 繁 (鳥取環境大学常務理事)
" 山 根 昭 彦 (氷温学会専務理事)
" 柴 田 英 杞 (財団法人鳥取県文化振興財団副理事長)
" おそど まさこ (社団法人鳥取県観光連盟観光プロデューサー)
" 川 上 優 (西日本旅客鉄道株式会社執行役員米子支社長)
" 福 本 有希子 (有限会社白扇専務取締役)
" 清 水 雅 文 (有限会社モリサキ代表取締役)
" 野 坂 道 明 (有限会社ランドワーク代表取締役)
" 澤 健 一 (有限会社アーキテック代表取締役)
" 澤 耕 司 (日本交通株式会社常務取締役)
" 吉 田 圭 子 (株式会社赤瓦取締役)
" 吉 野 立 (田園プロジェクト代表) |

理事 衣笠 克 則（鳥取県文化観光局長）

” 大 西 康 隆（鳥取市経済観光部長）

” 深 田 佳 洋（倉吉市産業部長）

” 矢 倉 敏 久（米子市経済部長）

” 足 立 一 男（境港市産業環境部長）

監 事 高 橋 敬 一（有限会社高橋会計事務所代表取締役社
長）

” 景 里 和 夫（米子市会計管理者）

7 職 員 25人（うち県派遣職員 1人）

8 事 務 所 米子市末広町294番地

二 平成18年度事業実施状況

1 組織体制の強化

総務企画課にあった企画部門を分離し誘致課に統合した。事業担当として総動員体制をとり、誘致・企画事業に取り組んだ。

2 コンベンションの誘致及び支援事業

県外のコンベンション主催者及び県内の大学・団体・行政等の関係者に対し誘致セールスを行うとともに、県内で開催されたコンベンションに対する開催費の助成やパンフレットの提供、コンベンションボランティアの派遣など、各支援サービスを提供した。

また、鳥取県人会、高等学校同窓会等へ出席し、コンベンションの鳥取県開催についての情報交換、協力要請を行った。

3 コンベンションの調査及び企画事業

コンベンション開催意向調査・参加者アンケート等の情報収集、経済的波及効果の推計調査を行うとともに、県民にコンベンションの有用性を広く知ってもらうためのコンベンションまつりを中部で開催した（平成16年度は西部、平成17年度は東部で開催）。

また、県内主催者のコンベンションの開催意欲の醸成を目的として、事務局運営に関する知識やノウハウについて企画から準備まで時系列に理解できるコンベンション開催マニュアルを作成した。

4 広報及び宣伝事業

機関紙の発行、広報記事の掲載、ホームページ上での情報提供等、各種広報宣伝活動を展開した。

5 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業

(1) 管理運営について

利用者ニーズに即応したサービス体制の強化と会館利用日数の増加を図り、広報活動を通じて利用促進の拡充を行ったほか、外部委託の点検項目・作業内容等の見直しを行い、効率的かつ安全で清潔な施設づくりを推進した。

また、経営強化プロジェクトを立ち上げ、各課横断による施設運営強化チーム・営業企画強化チーム・地域貢献活動チームを結成した。それぞれの課題や提案を検討を行い、会館運営を強化するとともに展示・興行を対象としたセールス活動やアフターフォローの充実を図った。

さらに自主企画事業を行い、集客と交流から創客と創流につなげた取り組みを行った。

< 自主企画事業 >

- ・演劇ワークショップ（5月）
- ・情報プラザミニ展示会（6月）

- ・スタインウェイピアノの秘密を探る講座（６月）
- ・ビッグシップ・ナイトクルージング（９月、１２月、３月）
- ・ビッグシップ探検ツアー（２月）

(2) 平成１８年度における代表的な大規模催事

- ・スリーサム・イン・米子学会（７月６日～１０日）
- ・全日本トライアスロン皆生大会開閉会式（７月１４日～１７日）
- ・第１５回日本定位放射線治療学会（７月２０日～２２日）
- ・２００６ゼオライトとマイクロポーラス液晶に関する国際シンポジウム（７月３０日～８月２日）
- ・第３２回部落解放・人権確立鳥取県研究集会（８月７日～９日）
- ・第３回医療マネージメント学会・鳥取地方会（９月１日～２日）
- ・第２２回放射線技師総合学会・第３回日韓台合同学会大会（１０月５日～９日）
- ・日本人類遺伝子学会第５１回大会（１０月１７日～２０日）
- ・第１９回全国スポーツレクリエーション大会（１０月２１日～２２日）
- ・第２９回日本小児遺伝学会学会集会（１０月２０日～２１日）
- ・第４回鳥取県総合芸術文化祭「平成の芝居小屋朝日座事業」（１１月８日～１４日）
- ・第１１２回西日本整形災害外科学会（１１月１７日～１９日）
- ・日本頭痛学会総会（１１月２３日～２５日）
- ・山陰中核地域ものづくりフェア２００６（１２月５日～１１日）
- ・平成１８年度確定申告（２月１５日～３月１５日）

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(一般会計)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
	円	円	円	
事業活動収入	113,449,000	94,346,458	19,102,542	
1 基本財産運用収入	15,628,000	15,635,062	7,062	
(1) 基本財産利息収入	15,628,000	15,635,062	7,062	
2 会費収入	3,200,000	3,160,000	40,000	
(1) 賛助会員会費収入	3,200,000	3,160,000	40,000	
3 補助金等収入	85,732,000	66,888,232	18,843,768	
(1) 県補助金収入	42,867,000	33,444,116	9,422,884	
運営費補助金収入	23,679,000	19,394,116	4,284,884	
コンベンション開催 助成費収入	19,188,000	14,050,000	5,138,000	
(2) 市町村補助金収入	42,865,000	33,444,116	9,420,884	
運営費補助金収入	23,678,000	19,394,116	4,283,884	
コンベンション開催 助成費収入	19,187,000	14,050,000	5,137,000	
4 負担金収入	8,889,000	8,383,664	505,336	
(1) 県負担金収入	8,889,000	8,383,664	505,336	
5 雑収入	0	279,500	279,500	
(1) 雑収入	0	279,500	279,500	
入				
当期収入合計(A)	113,449,000	94,346,458	19,102,542	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計(B)	113,449,000	94,346,458	19,102,542	

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
		円	円	円	
支 出	事業活動支出	113,449,000	94,346,458	19,102,542	
	1 管理費支出	54,349,345	48,445,828	5,903,517	
	(1) 職員給与費	45,399,000	41,891,728	3,507,272	
	(2) 会議費	986,000	318,427	667,573	
	(3) 事務局費	7,365,000	6,235,673	1,129,327	誘致事業支出よ り 599,345円
		599,345			
	2 事業費支出	59,099,655	45,900,630	13,199,025	
	(1) 誘致事業支出	14,075,000	11,764,791	2,310,209	事務局費へ 599,345円
		489,195			広報宣伝事業支 出より 110,150円
	(2) 調査企画事業支出	3,336,000	2,964,303	371,697	
	(3) 広報宣伝事業支出	3,913,000	3,071,536	841,464	誘致事業支出へ 110,150円
		110,150			
	(4) コンベンション開催助 成費	38,375,000	28,100,000	10,275,000	
	当期支出合計(C)	113,449,000	94,346,458	19,102,542	
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(一般会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	20,271,398	負 債	20,271,398
1 現金預金	19,352,580	1 流動負債	20,271,398
(1) 普通預金	19,352,580	(1) 未払金	3,009,652
2 未収金	918,818	(2) 預り金	17,261,746
固定資産	973,257,692	正味財産	973,257,692
1 基本財産	972,142,000	(うち基本金)	(972,142,000)
(1) 基本財産預金	61,763,600	(当期正味財産減少額)	(560,896)
(2) 基本財産投資有価証券	910,378,400		
2 その他の固定資産	1,115,692	・	
(1) 車両運搬具	303,229		
(2) 什器備品	123,253		
(3) ソフトウェア	464,258		
(4) 電話加入権	224,952		
合 計	993,529,090	合 計	993,529,090

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(センター特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入	事業活動収入	円 333,371,000	円 316,672,354	円 16,698,646	
	1 管理運営事業収入	86,192,000	98,195,180	12,003,180	
	(1) 施設利用料収入	86,192,000	98,195,180	12,003,180	
	2 補助金等収入	240,270,000	211,838,129	28,431,871	
	(1) 県受託事業収入	120,135,000	91,703,129	28,431,871	
	(2) 米子市受託事業収入	120,135,000	120,135,000	0	
	3 雑収入	6,909,000	6,639,045	269,955	
	(1) 光熱水費割当収入	5,007,000	4,668,842	338,158	
	(2) テナント収入	1,772,000	1,744,144	27,856	
	(3) 雑収入	130,000	226,059	96,059	
	当期収入合計(A)	333,371,000	316,672,354	16,698,646	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	333,371,000	316,672,354	16,698,646	
	支 出	事業活動支出	333,371,000	302,206,082	31,164,918
1 管理費支出		98,274,000	91,625,809	6,648,191	
(1) 職員給与費		98,274,000	91,625,809	6,648,191	
2 事業費支出		229,897,000	205,380,273	24,516,727	
(1) 施設運営事業費		228,897,000	204,484,819	24,412,181	
(2) 企画事業費		1,000,000	895,454	104,546	
3 他会計への繰入金支出		5,200,000	5,200,000	0	
(1) 地域振興事業基金特別 会計への繰入金支出		5,200,000	5,200,000	0	
当期支出合計(C)		333,371,000	302,206,082	31,164,918	
当期収支差額(A) - (C)		0	14,466,272	14,466,272	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	14,466,272	14,466,272		

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(センター特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	74,735,736	負 債	60,269,464
1 現金預金	68,121,607	1 流動負債	60,269,464
(1) 現金	265,120	(1) 未払金	24,144,244
(2) 普通預金	67,856,487	(2) 前受金	5,707,180
2 未収金	6,614,129	(3) 預り金	30,418,040
		正味財産	14,466,272
		(当期正味財産増加額)	(14,466,272)
合 計	74,735,736	合 計	74,735,736

財団法人 とっとりコンベンションビューロー

収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(地域振興事業基金特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
入		円	円	円	
	事業活動収入	5,200,000	5,200,000	0	
	1 他会計からの繰入金収入	5,200,000	5,200,000	0	
	(1) センター特別会計からの繰入金収入	5,200,000	5,200,000	0	
	当期収入合計(A)	5,200,000	5,200,000	0	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	5,200,000	5,200,000	0	
支					
	投資活動支出	5,200,000	5,200,000	0	
	1 基本財産取得支出	5,200,000	5,200,000	0	
	(1) 基金取得支出	5,200,000	5,200,000	0	
	当期支出合計(C)	5,200,000	5,200,000	0	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(地域振興事業基金特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
固定資産	5,200,000	正味財産	5,200,000
1 特定資産	5,200,000	(当期正味財産増加額)	(5,200,000)
(1) 地域振興事業基金預 金	5,200,000		
合 計	5,200,000	合 計	5,200,000

三 平成19年度事業計画

1 基本方針

当財団を取り巻く環境は、コンベンション誘致の都市間競争の激化、米子コンベンションセンターに対する指定管理者制度の導入、公益法人のあり方の抜本的な改革など大きな変動のうねりのなかにある。

当財団においては、限られた予算・人員で財団本来の目的を最大限に達成するために、既存事業の見直しをはじめ、強みとなる分野への経営資源の集中など、「戦略的な財団運営」に取り組むものである。

- (1) 誘致・開催支援活動の拡充
- (2) コンベンション受け入れ態勢の強化
- (3) 情報発信力の強化
- (4) 米子コンベンションセンターの管理運営
- (5) 米子コンベンションセンター地域振興事業基金による事業

2 主要事業

(1) 誘致・開催支援活動の拡充

県内開催コンベンションの基軸である学術会議の誘致を充実させるとともに、企業コンベンションの分野にマーケットを拡大した誘致活動を展開する。

誘致セールス事業

首都圏を中心に各種団体への誘致セールスを行うとともに、県内のキーパーソンを訪問し、コンベンションの鳥取県誘致を要請する。

誘致促進事業

首都圏での誘致懇談会の開催、鳥取県人会等との人脈形成及び県内各種団体への訪問などを行い、コンベンションの鳥取県開催についての情報収集及び協力要請を行う。

誘致データベース更新事業〔新規〕

平成8年度に構築した主催者情報や大会情報等の誘致活動の基礎となるデータベースに条件検索や抽出印刷などの機能をもたせるようプログラムを更新する。

開催支援事業

鳥取県開催コンベンションの円滑な運営を支援するため、主催者への財的・物的支援や情報の提供等を行う。

(2) コンベンション受入体制の強化

コンベンション都市としての魅力と能力を高めるため、地元主催者のコンベンション開催スキルの向上、参加者の満足度を高める地域資源の掘り起こしなどを行う。

コンベンション事務局運営支援事業

知識や経験・人材不足のためにコンベンションの県内開催を躊躇している県内団体に対して、当財団が事務局ノウハウや企画の組み立て方をアドバイスすることにより、鳥取県開催のコンベンションを誘発する。

コンベンションおもてなしマニュアル作成事業〔新規〕

鳥取県ならではの魅力ある素材（レセプション、料理、アトラクション、視察、観光）を地域ごとにピックアップして主催者に活用法を提案していく。

(3) 情報発信力の強化

コンベンション主催者に対する情報発信を強化するとともに、コンベンションを受け入れる側の意識向上を図るため、県民や関係業界に対する情報発信を充実させる。

コンベンション誘致情報の発信

ホームページやパンフレット等を充実強化して、コンベンション開催支援制度や県内のコンベンション施設、宿泊、飲食、観光などの情報を、主催者に的確かつタイムリーに提供する。

コンベンション啓発情報の発信

財団機関誌やマスコミ発表等を通じて、コンベンションの意義や地域振興への効果や財団の活動状況などを、県民や関係業界に広く情報発信する。

(4) 米子コンベンションセンターの管理運営

管理運営の基本姿勢

米子コンベンションセンターが地域住民に愛され、より多くの皆さんに来館していただける施設作りを目指し、地域の応援団として地域と共に発展を続ける管理運営を目指す。

管理運営の方針・内容

ア 利用者・来館者の拡大と利用率アップを図る。

- ・施設の特色を積極的にPRし、利用者の拡大を図る。
- ・会館・設備を広く知っていただく仕掛けづくりを行う。
（ビッグシップ探検ツアー、スタインウェイの秘密を探る講座）
- ・利用形態に合わせたセットプラン等の提案で利用率アップを図る。
- ・情報プラザの利便性を高め、展示スペースとしての利用の増加を図る。
- ・NPO団体等への活動支援を行い、来館者の拡大を図る。

イ 顧客満足度の向上と複合的なサービスが提供できる施設作りの推進

- ・利用者のニーズにあった備品の充実と、施設・設備の早期改修・改善を図る。
- ・委託管理者と連携し、安全・快適・清潔な施設づくりを推進する。
- ・利用者のニーズ・クレームに対して迅速かつ効果的な対応を図る。

- ・危機管理体制の強化により、安心度の高い施設作りを行う。
- ・チケットセンターの機能を備え、サービス向上と収入増を目指す。
- ・総合的なマネージメントが出来る体制を強化する。

ウ オンリーワンの指定管理者を目指し、組織力の強化を図る。

- ・経営の健全化と効率化に引き続き取り組み、経費の見直しを図る。
- ・各課協働でのセールス体制を整備する。
- ・職員のマネージメント能力開発と専門的な人材育成を図る。

(5) 「米子コンベンションセンター地域振興事業基金」による事業

地域のコンベンション振興に資する事業

<利用団体支援事業>

- ・概要 米子コンベンションセンターで開催するコンベンションの主催者に対する助成制度を設け、同館を活用したコンベンションの振興を図る。
- ・対象コンベンション 多目的ホール、国際会議場、小ホールを一定期間以上利用
- ・助成内容 助成金の交付、供花等の物的支援（合計で会場使用料金の5%程度）

地域のにぎわい創出に資する事業

<にぎわい創出事業>

平成19年度は該当なし。平成20年度「ビッグシップ祭り」実施に向け準備を行う。

地域の文化活性化に資する事業

<文化活性化事業>

ア ナイトクルージング

- ・概要 地域で活動を続けるアマチュア音楽家を紹介するコンサートを開催し、地域住民が気軽に音楽に触れる場を提供するとともに、地元音楽家の活動を支援する。
- ・会場 米子コンベンションセンター 多目的ホールホワイエ
- ・開催回数 年間4回
- ・客席数/回 250席

イ 情報プラザミニ展示会

- ・概要 地域で活動する写真・絵画・陶芸等の展示系文化団体に作品展示の場を提供し、地域住民に広く紹介するとともに、地元アーティストの活動を支援する。
- ・会場 米子コンベンションセンター 情報プラザ
- ・開催回数 年1回、3週間の展示期間

・展示団体 公募により3団体を選出

ウ その他文化活性化事業

・概要 地域の各種文化活動者等と協議して、文化の活性化にふさわしい事業をタイムリーに企画・実施する。

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(一般会計)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
事業活動収入	89,785	113,449	23,664	
1 基本財産運用収入	15,628	15,628	0	
(1) 基本財産利息収入	15,628	15,628	0	
2 会費収入	3,200	3,200	0	
(1) 賛助会員会費収入	3,200	3,200	0	
3 補助金等収入	70,957	85,732	14,775	
(1) 県補助金収入	35,479	42,867	7,388	
運営費補助金収入	25,429	23,679	1,750	
コンベンション開催 助成費収入	10,050	19,188	9,138	
(2) 市町村補助金収入	35,478	42,865	7,387	
運営費補助金収入	25,428	23,678	1,750	
コンベンション開催 助成費収入	10,050	19,187	9,137	
負担金収入	0	8,889	8,889	
県負担金収入	0	8,889	8,889	
入				
当期収入合計(A)	89,785	113,449	23,664	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計(B)	89,785	113,449	23,664	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
事業活動支出	89,785	113,449	23,664	
1 管理費支出	50,324	53,750	3,426	
(1) 職員給与費	42,892	45,399	2,507	
(2) 会議費	643	986	343	
(3) 事務局費	6,789	7,365	576	
2 事業費支出	39,461	59,699	20,238	
(1) 誘致事業支出	14,090	14,075	15	
(2) 調査企画事業支出	1,365	3,336	1,971	
(3) 広報宣伝事業支出	3,906	3,913	7	
(4) コンベンション開催助 成費	20,100	38,375	18,275	
支 出				
当期支出合計(C)	89,785	113,449	23,664	
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー

収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(センター特別会計)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収 入	事業活動収入	319,308	333,371	14,063	
	1 管理運営事業収入	90,000	86,192	3,808	
	(1) 施設利用料収入	90,000	86,192	3,808	
	2 補助金等収入	221,388	240,270	18,882	
	(1) 県受託事業収入	121,253	120,135	1,118	
	(2) 米子市受託事業収入	100,135	120,135	20,000	
	3 雑収入	7,920	6,909	1,011	
	(1) 光熱水費割当収入	5,050	5,007	43	
	(2) テナント収入	1,756	1,772	16	
	(3) 雑収入	1,114	130	984	
	当期収入合計(A)	319,308	333,371	14,063	
	前期繰越収支差額	14,466	0	14,466	
	収入合計(B)	333,774	333,371	403	
	支 出	事業活動支出	328,774	333,371	4,597
1 管理費支出		94,070	98,274	4,204	
(1) 職員給与費		94,070	98,274	4,204	
2 事業費支出		225,238	229,897	4,659	
(1) 施設運営事業費		225,238	228,897	3,659	
企画事業費		0	1,000	1,000	
3 他会計への繰入金支出		9,466	5,200	4,266	
(1) 地域振興事業基金特別 会計への繰入金支出		9,466	5,200	4,266	
予備費支出		5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)		333,774	333,371	403	
当期収支差額(A) - (C)	14,466	0	14,466		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

財団法人 とっとりコンベンションビューロー

収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(地域振興事業基金特別会計)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収 入	事業活動収入	41,397	5,200	36,197	
	1 管理運営事業収入	1,500	0	1,500	
	(1) 入場料収入	1,500	0	1,500	
	2 補助金等収入	28,431	0	28,431	
	(1) 県補助金収入	28,431	0	28,431	
	3 協賛金収入	2,000	0	2,000	
	(1) 協賛金収入	2,000	0	2,000	
	4 他会計からの繰入金収入	9,466	5,200	4,266	
	(1) センター特別会計からの繰入金収入	9,466	5,200	4,266	
	投資活動収入	10,700	0	10,700	
	1 基本財産取崩収入	10,700	0	10,700	
	(1) 基金取崩収入	10,700	0	10,700	
		当期収入合計(A)	52,097	5,200	46,897
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	52,097	5,200	46,897	
支 出	事業活動支出	14,200	0	14,200	
	1 事業費支出	14,200	0	14,200	
	(1) 利用団体支援事業費	2,000	0	2,000	
	(2) 文化活性化事業費	12,200	0	12,200	
	投資活動支出	37,897	5,200	32,697	
	1 基本財産取得支出	37,897	5,200	32,697	
(1) 基金取得支出	37,897	5,200	32,697		
	当期支出合計(C)	52,097	5,200	46,897	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

(8) 財団法人 鳥取県臓器バンク経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-------------|--|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取県臓器バンク |
| 2 目 的 | 臓器移植の普及を図るため、県内において臓器移植に係る啓発及び助成等を行い、もって県民の健康の増進及び福祉の向上に寄与することを目的とする。 |
| 3 組織変更認可年月日 | 平成 11 年 3 月 25 日
(財団法人鳥取県腎バンク設立許可年月日 平成 6 年 3 月 23 日) |
| 4 組織変更登記年月日 | 平成 11 年 4 月 1 日
(財団法人鳥取県腎バンク設立登記年月日 平成 6 年 4 月 1 日) |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 88,630,579 円
鳥取県出えん金 52,640,000 円
市町村出えん金 24,000,000 円
民間出えん金 11,990,579 円 |
| 6 役 員 | 理 事 17人 監 事 1人
理 事 長 岡 本 公 男 (社団法人鳥取県医師会会長)
副理事長 井 藤 久 雄 (国立大学法人鳥取大学副学長)
常務理事 田 中 謙 (鳥取県福祉保健部長)
理 事 林 伸 伍 (社団法人鳥取県歯科医師会会長)
" 小 林 健 治 (社団法人鳥取県薬剤師会会長)
" 高 橋 千 寛 (米子医療センター泌尿器科医長)
" 根 本 良 介 (鳥取県立中央病院副院長)
" 竹 内 功 (鳥取県市長会会長)
" 坂 本 昭 文 (鳥取県町村会会長)
" 長 井 勇喜夫 (鳥取県銀行協会会長)
" 水 根 富士雄 (鳥取県商工会連合会専務理事)
" 有 田 勝 徳 (鳥取県中小企業団体中央会専務理事)
" 御 船 幹 雄 (ライオンズクラブ 336- B 地区 7 区 代表)
" 中 岡 明 久 (山陰労災病院腎代謝内科部長) |

理事 荒田久男（鳥取県腎友会副会長）

” 渡邊淳子（博愛病院院長）

” 塩澤洋子（社団法人鳥取県看護協会会長）

監事 藤本英興（鳥取信用金庫理事長）

7 職員 3人

8 事務所 鳥取市東町一丁目220番地

二 平成18年度事業実施状況

1 臓器移植の普及啓発、臓器提供意思表示カードの配布

- (1) 街頭キャンペーンや各種団体が開催するイベントへの参加を通じて、臓器提供意思表示カード等を配布することにより、臓器移植医療への理解促進を図った。
- (2) 臓器移植推進月間(10月)の開催広告を朝日新聞に掲載した。また、推進月間の間、JR車輦内(52車輦)にPRポスターを掲出した。
- (3) 平成17年9月より日ノ丸バスの車体外側面に臓器提供の意思表示を呼びかける広告を掲出していたが、平成18年度は増便(県内3台 6台)を行い、広報強化に努めた。
- (4) 臓器移植推進月間中に臓器提供意思表示カードの周知・所持状況についてのアンケート調査を実施した。調査結果は、医療関係者等へ情報提供し啓発資料として活用するほか、ホームページにて一般公開した。
- (5) ホームページを更新し、より多くの方へ鳥取県の臓器移植医療の現状や臓器提供意思表示カード等について紹介した。
- (6) 年々増加する人工透析患者数を把握するため、人工透析施設の協力を得て人工透析の現況に関する調査を行った。

2 鳥取県腎友会への助成

人工透析患者とその家族で組織している鳥取県腎友会の学習会(年3回)に対して助成した。

3 臓器移植コーディネーターの活動

(1) 日常業務

県内臓器提供施設の医療従事者に対し臓器移植に関する普及啓発活動を行い、臓器提供協力の拡充に努めるとともに、定期的に巡回し更に理解と協力を得ることに努めた。

病院、各種団体等での講演を行うことにより、臓器移植医療への理解、協力を求めた。

(2) 臓器提供発生業務

県内でのドナー情報なし。

(3) その他

臓器バンクの活動を報告したバンクだよりを、理事会での決算承認後作成し、賛助会員等に配布した。

財団法人 鳥取県臓器バンク
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
収 入	基本財産運用収入	1,526,000	1,574,643	48,643	
	1 基本財産利息収入	1,526,000	1,574,643	48,643	
	会費収入	1,362,000	1,362,000	0	
	1 賛助会員会費収入	1,362,000	1,362,000	0	
	寄附金収入	1,000	0	1,000	
	1 寄附金収入	1,000	0	1,000	
	補助金等収入	8,268,000	7,251,380	1,016,620	
	1 県補助金収入	8,173,000	7,166,855	1,006,145	
	2 (社)日本臓器移植ネット ワーク補助金収入	95,000	84,525	10,475	
	雑収入	181,000	182,808	1,808	
	1 雑収入	181,000	182,808	1,808	
	特定資産取崩収入	1,000	112,020	111,020	
	1 退職給与引当金取崩収入	1,000	112,020	111,020	
	当期収入合計(A)	11,339,000	10,482,851	856,149	
	前期繰越収支差額	3,018,000	3,017,608	392	
収入合計(B)	14,357,000	13,500,459	856,541		

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
	円	円	円	
管理費支出	8,124,000	7,778,720	345,280	
1 職員給与費	5,807,000	5,759,943	47,057	
2 事務局費	2,232,000	1,993,755	238,245	
3 会議費	85,000	25,022	59,978	
事業費支出	4,894,000	2,084,656	2,809,344	
1 普及啓発費	3,331,000	1,475,065	1,855,935	
2 臓器移植助成費	20,000	0	20,000	
3 コーディネーター活動費	1,543,000	609,591	933,409	
支				
出				
当期支出合計(C)	13,018,000	9,863,376	3,154,624	
当期収支差額(A) - (C)	1,679,000	619,475	2,298,475	
次期繰越収支差額(B) - (C)	1,339,000	3,637,083	2,298,083	

財団法人 鳥取県臓器バンク
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	5,049,648	負 債	1,412,565
1 現金預金	5,036,498	1 流動負債	1,412,565
2 仮払金	13,150	(1) 未払金	1,321,578
		(2) 預り金	90,987
固定資産	88,630,579		
1 基本財産	88,630,579	2 固定負債	85,200
(1) 基本財産定期預金	8,630,579	(1) 退職給与引当金	85,200
(2) 基本財産投資有価証券	80,000,000		
2 その他の固定資産	85,200	正味財産	92,267,662
(1) 退職給与引当預金	85,200	(うち基本金)	(88,630,579)
		(当期正味財産増加額)	(619,475)
合 計	93,765,427	合 計	93,765,427

三 平成19年度事業計画

1 臓器移植の普及のための啓発

- (1) 臓器移植推進街頭キャンペーンの開催、県、市町村及びライオンズクラブ等が開催するイベントや講演会等への参加を通じて、臓器移植の普及啓発を行う。
- (2) 臓器提供意思表示カードや啓発パンフレットを県・市町村などの行政機関、医療機関、学校及び公民館等に配布する。
- (3) テレビ・新聞・県市町村広報・インターネット・ケーブルテレビ等の媒体を活用して広報を行う。
- (4) 移植コーディネーターによる県内各医療機関の院内研修での講演や定期的な巡回により、臓器提供に対する理解及び協力を得る。また、資料を作成・配布し、各医療機関へ情報提供する。
- (5) 教育現場への普及啓発活動の協力を得られるよう働きかけ、「臓器移植出前講座」を実施することにより若年世代又は教職員等の臓器移植に関する正しい理解を深める。
- (6) 最も需要の多い腎移植を中心に県内医療機関での臓器移植・提供を進めるため、賛同を得られる医療機関を対象に検討会を開催する。

2 臓器移植に係る助成

- (1) 鳥取県腎友会の学習会経費に対して助成する。
- (2) 臓器提供が行われた時には、臓器提供者の遺族に対し香典を贈る。

3 社団法人日本臓器移植ネットワークが行う臓器提供のあっせんに対する協力

臓器移植コーディネーターは、社団法人日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携しながら、死体の臓器提供のあっせんに対して以下のような活動をする。

- (1) 臓器移植希望者に対し、登録申請のための支援を行う。
- (2) 西日本支部及び主治医と連絡を取りつつ、臓器提供可能者の脳死判定及び臓器提供に関する意思を確認するとともに、その家族に対して臓器提供についての説明を行う。
- (3) 組織適合性検査のため、臓器提供候補者の血液の確保とともにHLA検査センターへの血液搬送又はその手配を行う。

財団法人 鳥取県臓器バンク
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	基本財産運用収入	809	1,526	717	
	1 基本財産利息収入	809	1,526	717	
	会費収入	1,000	1,362	362	
	1 賛助会員会費収入	1,000	1,362	362	
	寄附金収入	1	1	0	
	1 寄附金収入	1	1	0	
収	補助金等収入	8,510	8,268	242	
	1 県補助金収入	8,415	8,173	242	
	2 (社)日本臓器移植ネットワーク補助金収入	95	95	0	
	雑収入	1	181	180	
	1 雑収入	1	181	180	
	特定資産取崩収入	1	1	0	
	1 退職給与引当金取崩収入	1	1	0	
入	当期収入合計(A)	10,322	11,339	1,017	
	前期繰越収支差額	1,339	3,018	1,679	
	収入合計(B)	11,661	14,357	2,696	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	管理費支出	8,421	8,124	297	
	1 職員給与費	5,845	5,807	38	
	2 事務局費	2,483	2,232	251	
	3 会議費	93	85	8	
	事業費支出	2,843	4,894	2,051	
	1 普及啓発費	1,280	3,331	2,051	
	2 臓器移植助成費	20	20	0	
	3 コーディネーター活動費	1,543	1,543	0	
支	予備費支出	397	0	397	
出					
	当期支出合計(C)	11,661	13,018	1,357	
	当期収支差額(A) - (C)	1,339	1,679	340	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	1,339	1,339	

(9) 財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|---|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社 |
| 2 目 的 | 鳥取県が設置する天神川流域下水道の運転管理業務等を受託するとともに、天神川流域下水道関係地方公共団体が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 昭和57年8月1日 |
| 4 設立登記年月日 | 昭和57年8月7日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 7人 監 事 2人
理 事 長 広 瀬 健 志
副理事長 長谷川 稔(倉吉市長)
常務理事 広 瀬 健 志(理事長兼務)
理 事 吉 田 秀 光(三朝町長)
" 松 本 昭 夫(北栄町長)
" 宮 脇 正 道(湯梨浜町長)
" 尾 崎 節 子(湯梨浜町社会教育委員)
" 大 場 尚 志(鳥取県生活環境部次長)
監 事 馬 壁 聰之介
" 浦 林 梅 樹 |
| 7 職 員 | 9人 |
| 8 事 務 所 | 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地 |

二 平成18年度事業実施状況

1 天神川流域下水道運転管理受託事業

(1) 県との委託契約に基づく天神川流域下水道の維持管理

- ① 天神浄化センター、各処理分区の流量計測設備（23カ所）、若土ポンプ場設備、幹線管渠及び放流管渠の維持管理業務を実施した。
- ② 流域接続地方公共団体1市3町から流入した汚水及び発生した汚泥を、次のとおり処理した。

汚 水 処 理 量		汚 泥 処 理 量	
日 平 均	19,839m ³	脱水汚泥（年間合計）	4,015.6t
年 間 合 計	7,241,065m ³	焼却灰（年間合計）	137.7t

③ 水処理の状況は次のとおりである。

項 目	流 入 下 水	放 流 水
BOD (mg/l)	120	7.9
浮遊物質 (SS) (mg/l)	110	2.0

※BOD=生物化学的酸素要求量

(2) 水質及び汚泥成分等の分析

平成18年度水質試験計画により、公社が直営で次のとおり実施した。

水質試験（日常試験、中試験、精密試験、通日試験、管渠接続箇所試験、放流海域試験）、汚泥試験、悪臭物質試験、騒音試験

(3) 県から受託した天神川流域下水道維持管理業務のうち、管理棟・汚泥処理棟の建築付帯設備、電気設備等の保守点検を民間専門業者に再委託した。

2 下水道技術者の養成

職員の下水道に関する知識の習得、技術向上を図るため、社団法人日本下水道協会、日本下水道事業団等の研修会、講習会に参加した。

3 下水道技術の調査研究

下水道の技術の情報を収集するために下水道研究発表会（社団法人日本下水道協会主催）、中国地区公衆衛生学会に出席した。

4 下水道普及啓発事業

(1) 上水から下水までの水の状況を学習してもらうため、8月19日に「水の旅見学会」を実施した。

見学コース：東郷ダム→浄水場（倉吉市）→天神浄化センター

参加者：親子22組53名

(2) 1市5町の小学4年生の児童から、習字、ポスター、標語を募集して下水道コンクー

ルを実施した。

- (3) 施設見学者に対して、施設の説明、案内を実施した。

見学者数：258人(6団体)

- (4) 小学校に職員が出向いて、下水道のしくみ、微生物の説明、水質検査の体験の「下水道ふれあい教室」を実施した。(1市1町の2校)

財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	
収 入		円	円	円		
		38,000	38,375	375		
	1	基本財産利息収入	38,000	38,375	375	
		事業収入	416,183,000	368,777,453	47,405,547	
	1	天神川流域下水道維持管 理受託収入	416,183,000	368,777,453	47,405,547	
		(1) 県受託事業収入	416,183,000	368,777,453	47,405,547	
		雑収入	2,000	5,162	3,162	
	1	受取利息収入	1,000	5,162	4,162	
	2	雑収入	1,000	0	1,000	
		当期収入合計(A)	416,223,000	368,820,990	47,402,010	
		前期繰越収支差額	0	0	0	
		収入合計(B)	416,223,000	368,820,990	47,402,010	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支 出	天神川流域下水道維持管理 受託事業費支出	416,222,000	368,820,990	47,401,010	
	1 管理運営費	85,249,000	83,263,057	1,985,943	
	(1) 職員給与費	71,749,000	73,507,588	1,018,412	維持管理業務費 より
		2,777,000			2,777,000円
	(2) その他経費	10,723,000	9,755,469	967,531	
	2 維持管理業務費	333,134,000	284,867,649	45,403,351	職員給与費へ 2,777,000円 普及啓発費へ 86,000円
		2,863,000			
	3 普及啓発費	566,000	650,284	1,716	維持管理業務費 より
		86,000			86,000円
	4 調査研究費	50,000	40,000	10,000	
事業費支出	1,000	0	1,000		
1 退職給与金支出	1,000	0	1,000		
当期支出合計(C)	416,223,000	368,820,990	47,402,010		
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	20,843,458	負債	20,843,458
1 現金預金	20,843,458	1 流動負債	20,843,458
(1) 普通預金	20,843,000	(1) 預り金	629,782
(2) 仮払金	458	(2) 未払金	20,213,676
固定資産	3,074,984	正味財産	3,074,984
1 基本財産	3,000,000	(うち基本金)	(3,000,000)
(1) 基本財産定期預金	42,271	(当期正味財産増加額)	(0)
(2) 基本財産投資有価証券	2,957,729		
2 その他の固定資産	74,984		
(1) 電話加入権	74,984		
合 計	23,918,442	合 計	23,918,442

三 平成19年度事業計画

- 1 天神川流域下水道の運転管理業務を県から受託して行う。
- 2 下水道の流入水、放流水、汚泥、焼却灰等の分析を県から受託して行う。
- 3 下水道技術者の養成を行う。
- 4 下水道技術の調査研究及び情報収集を行う。
- 5 下水道知識の普及啓発を行う。
 - (1) 天神浄化センター見学者に対する啓発
 - (2) ホームページによる下水道の普及促進
 - (3) 水の旅見学会の開催
 - (4) 下水道コンクールの実施
 - (5) 下水道ふれあい教室の実施
- 6 その他公社の目的を達成するために必要な事業を行う。

財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収 入	基本財産運用収入	38	38	0	
	1 基本財産利息収入	38	38	0	
	事業収入	456,308	416,183	40,125	
	1 天神川流域下水道維持管理 受託収入	456,308	416,183	40,125	
	(1) 県受託事業収入	456,308	416,183	40,125	
	雑収入	7	2	5	
	1 受取利息収入	6	1	5	
	2 雑収入	1	1	0	
	当期収入合計(A)	456,353	416,223	40,130	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計(B)	456,353	416,223	40,130		
支 出	天神川流域下水道維持管理 受託事業費支出	456,352	416,222	40,130	
	1 管理運営費	83,669	82,472	1,197	
	(1) 役員報酬費	5,552	0	5,552	
	(2) 職員給与費	65,684	71,749	6,065	
	(3) その他経費	12,433	10,723	1,710	
	2 維持管理業務費	372,029	333,134	38,895	
	3 普及啓発費	604	566	38	
	4 調査研究費	50	50	0	
	事業費支出	1	1	0	
	1 退職給与金支出	1	1	0	
当期支出合計(C)	456,353	416,223	40,130		
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

(10) 財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|---|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会 |
| 2 目 的 | 食鳥処理の事業者等に対する衛生教育、食鳥処理に関する正しい知識及び処理技術の普及、食鳥肉等の消費者に対する啓発並びに食鳥肉の衛生検査等を行い、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 平成4年2月13日 |
| 4 設立登記年月日 | 平成4年2月21日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 600,000,000円
鳥取県出えん金 600,000,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 8人 監 事 2人
理 事 長 坪 倉 操 (社団法人鳥取県獣医師会会長)
副理事長 井 関 伸 子 (鳥取市消費者団体連絡協議会会長)
常務理事 橋 本 賢 生 (鳥取県生活環境部くらしの安心推進課長)
理 事 大 槻 公 一 (国立大学法人鳥取大学農学部名誉教授)
" 松 島 文 子 (鳥取短期大学生生活学科教授)
" 長 井 大 (鳥取県鳥取保健所長)
" 山 田 恭 子 (鳥取県食生活改善推進員連絡協議会副会長)
" 中 尾 佐代子 (鳥取県薬剤師会理事)
監 事 福 田 豊 (鳥取県獣医師会専務理事)
" 小 坪 正 一 (株式会社鳥取県食肉センター代表取締役) |
| 7 職 員 | 8人 (うち県退職職員 6人) |
| 8 事 務 所 | 西伯郡大山町小竹1291番地7 |

二 平成18年度事業実施状況

1 食鳥検査事業

食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号）第21条の規定に基づき鳥取県知事から委任された食鳥検査の業務を行った。

（検査対象施設及び検査食鳥羽数）

米久東伯株式会社 6,194,562羽

（平成19年1月末までは東伯町農業協同組合食鶏加工流通センター）

名和食鶏有限会社 623,777羽

山陰食鶏農業協同組合食鶏処理施設 5,617,540羽

計 12,435,879羽

2 研修教育事業

- (1) 食鳥検査結果を集計し検討を加え、各食鳥処理業者及び家畜保健衛生所を通じ、生産者へのフィードバックを図った。
- (2) 各食鳥処理場の食鳥処理衛生管理者に対して、随時、食鳥の異常鑑別等の指導を行った。
- (3) 毎月、常勤検査員全体会議を開催して情報交換等を行ったほか、非常勤職員との検査技術合同研修会を7月、12月の2回開催した。
- (4) 検査技術水準の向上を図るため、検査員を獣医学会、鶏病技術研修会、全国食鳥指定検査機関協議会等へ派遣した。

3 広報啓発事業

- (1) 「食鳥だより No21」を発行し、関係機関に配布して食鳥検査事業の啓発に努めた。
- (2) 食鳥検査結果を必要に応じて各処理業者に還元することにより、食鳥肉の衛生意識の高揚を図ることに努めた。
- (3) 各食鳥処理場において研修会議を開催し、食鳥処理における衛生対策及び疾病診断技術高病原性鳥インフルエンザに関しての正しい知識の普及、啓発に努めた。

財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入		円	円	円	
	基本財産運用収入	12,948,493	12,948,493	0	
	1 基本財産利息収入	12,948,493	12,948,493	0	
	事業収入	40,500,000	40,617,019	117,019	
	1 検査手数料収入	40,500,000	40,617,019	117,019	
	雑収入	40,000	54,096	14,096	
	1 受取利息収入	24,000	36,096	12,096	
	2 雑収入	16,000	18,000	2,000	
	当期収入合計(A)	53,488,493	53,619,608	131,115	
	前期繰越収支差額	28,907,945	28,907,945	0	
収入合計(B)	82,396,438	82,527,553	131,115		

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	管理費支出	11,978,000	10,041,983	1,936,017	
	1 職員給与費	8,898,000	8,630,513	267,487	
	2 事務費	2,986,000	1,358,462	1,627,538	
	3 会議費	54,000	13,008	40,992	
	4 その他経費	40,000	40,000	0	
	事業費支出	46,155,000	38,833,788	7,321,212	
	1 食鳥検査事業費	44,555,000	38,107,510	6,447,490	
	(1) 職員給与費	42,000,000	36,640,947	5,359,053	
	(2) 事務費	2,555,000	1,466,563	1,088,437	
支	2 広報啓発事業費	500,000	105,450	394,550	
	3 研修教育事業費	1,100,000	620,828	479,172	
	特定預金支出	5,911,000	5,910,740	260	
	1 事業安定化資金積立預金 支出	5,000,000	5,000,000	0	
	2 退職給与引当資産取得支 出	911,000	910,740	260	
出					
	当期支出合計(C)	64,044,000	54,786,511	9,257,489	
	当期収支差額(A) - (C)	10,555,507	1,166,903	9,388,604	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	18,352,438	27,741,042	9,388,604	

財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	28,603,405	負債	3,660,403
1 現金預金	25,026,522	1 流動負債	862,363
(1) 普通預金	25,026,522	(1) 未払金	749,682
2 未収金	3,576,883	(2) 預り金	112,681
固定資産	668,640,873	2 固定負債	2,798,040
1 基本財産	600,000,000	(1) 退職給与引当金	2,798,040
(1) 基本財産投資有価証券	600,000,000	正味財産	693,583,875
2 その他の固定資産	68,640,873	(うち基本金)	(600,000,000)
(1) 電話加入権	288,000	(当期正味財産増加額)	(3,580,627)
(2) 什器備品	554,833		
(3) 退職給与引当預金	2,798,040		
(4) 事業安定化資金積立預金	65,000,000		
合 計	697,244,278	合 計	697,244,278

三 平成19年度事業計画

1 食鳥検査事業

食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号）第21条の規定に基づき鳥取県知事から委任された食鳥検査の業務を行う。

（検査対象施設及び検査予定食鳥羽数）

米久東伯株式会社	6,190千羽
名和食鶏有限公司	600千羽
山陰食鶏農業協同組合食鶏処理施設	5,710千羽
計	12,500千羽

2 研修教育事業

食鳥検査員の食鳥検査技術の標準化を図るため、随時研修を行うほか、獣医学会、厚生労働省主催の研修会、鶏病研究会等への派遣を行う。

食鳥処理衛生管理者の資質の向上及び処理施設の衛生水準の向上を図るため、研修会、講習会等を行う。

(1) 食鳥処理衛生管理者の講習会 随時

(2) 検査員の定期研修会 7月、12月

3 広報啓発事業

生産段階から安全な食鳥肉の確保を図るため、食鳥生産者に対して検査結果情報を提供するほか、広報紙を作成し関係機関に配布する。

また、消費者の信頼を確保するため、食鳥処理業者に対して衛生管理改善の指導を行う。

財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
収 入		千円	千円	千円		
		基本財産運用収入	9,600	12,949	3,349	
		1 基本財産利息収入	9,600	12,949	3,349	
		事業収入	40,750	40,500	250	
		1 検査手数料収入	40,750	40,500	250	
		雑収入	40	40	0	
		1 受取利息収入	24	24	0	
		2 雑収入	16	16	0	
		当期収入合計(A)	50,390	53,489	3,099	
		前期繰越収支差額	18,353	28,908	10,555	
		収入合計(B)	68,743	82,397	13,654	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	管理費支出	12,637	11,978	659	
	1 職員給与費	8,898	8,898	0	
	2 事務費	3,645	2,986	659	
	3 会議費	54	54	0	
	4 その他経費	40	40	0	
	事業費支出	43,072	46,155	3,083	
	1 食鳥検査事業費	41,472	44,555	3,083	
	(1) 職員給与費	38,000	42,000	4,000	
	(2) 事務費	3,472	2,555	917	
支	2 広報啓発事業費	500	500	0	
	3 研修教育事業費	1,100	1,100	0	
	固定資産取得支出	4,000	0	4,000	
	1 什器備品購入支出	4,000	0	4,000	
	特定預金支出	4,034	5,911	1,877	
	1 事業安定化資金積立預金	3,000	5,000	2,000	
	支出				
	2 退職給与引当資産取得支	1,034	911	123	
	出				
	予備費支出	5,000	0	5,000	
	当期支出合計(C)	68,743	64,044	4,699	
	当期収支差額(A) - (C)	18,353	10,555	7,798	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	18,353	18,353	

(11) 鳥取県住宅供給公社経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-------------|---|
| 1 名 称 | 鳥取県住宅供給公社 |
| 2 目 的 | 住宅を必要とする勤労者に対し、住宅の積立分譲等の方法により、居住環境の良好な集団住宅及びその用に供する宅地を供給し、もって県民の生活安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 |
| 3 組織変更認可年月日 | 昭和40年10月25日
(財団法人 鳥取県住宅公社設立許可年月日
昭和31年3月19日) |
| 4 組織変更登記年月日 | 昭和40年11月1日
(財団法人 鳥取県住宅公社登記年月日 昭和31年3月22日) |
| 5 基 本 財 産 | 出資金 4,000,000円
鳥取県出資金 4,000,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 8人 監 事 2人
理 事 長 川 口 工 公(鳥取県土地開発公社理事長)
副理事長 大 場 尚 志(鳥取県生活環境部次長)
常務理事 川 口 工 公(理事長事務取扱)
理 事 稲 井 幾 子(株式会社いない取締役副社長)
" 内 田 洋 子(株式会社米吾の里監査役)
" 高 橋 敬 一(公認会計士)
" 西 村 照 子(税理士)
" 福 田 希 巳 子(レディスグランドハウス有限会社
代表取締役)
" 森 田 稔
監 事 馬 壁 聰 之 介
" 浦 林 梅 樹 |
| 7 職 員 | 7人 |
| 8 事 務 所 | 本 部 鳥取市田園町四丁目207番地
中部事務所 東伯郡琴浦町赤碕2540番地3
西部事務所 米子市糺町一丁目160番地 |

二 平成18年度事業実施状況

1 一般分譲住宅事業

団地名	事業施行地	建築着工戸数		供給戸数	平成18年度 事業費	平成18年度 分譲収入額
		前年度	当年度			
円護寺	鳥取市円護寺	戸 2	戸 7	戸 6	円 224,837,524	円 238,374,738
つのい	鳥取市若葉台	1	0	1	13,840,458	28,800,000
合 計		3	7	7	238,677,982	267,174,738

2 宅地分譲事業

団地名	事業施行地	分譲計画 面積	分譲実施状況					次年度以降 分譲予定 面積	備考
			既分譲 面積	平成18年度実績					
				分譲形態	面積	区画数	金額		
円護寺	鳥取市円護寺	m ² 48,297	m ² 24,601	分譲住宅	m ² 1,554	区画 6	円 90,467,000	m ² 22,212	雑種 地1,2 77 m ² 増
				宅地分譲	1,207	5	69,127,000		
北園	鳥取市北園	1,108	0	宅地分譲	238	1	13,946,000	870	
つのい	鳥取市若葉台	64,526	59,219	分譲住宅	260	1	12,600,000	3,147	
				宅地分譲	1,900	7	92,122,000		
大谷	岩美郡岩美町	20,235	18,700	宅地分譲	306	1	9,194,000	1,229	
望町	鳥取市青谷町	16,165	6,648	宅地分譲	1,085	3	18,210,000	8,432	
福守	倉吉市西福守町	36,358	24,044	宅地分譲	205	1	7,063,000	12,109	
赤碕	東伯郡琴浦町	99,402	55,509	宅地分譲	2,598	9	61,262,000	41,295	
三朝牧	東伯郡三朝町	9,390	8,939	宅地分譲	451	2	8,422,000	0	完売
観音寺	米子市観音寺	21,868	14,563	宅地分譲	1,668	7	100,841,000	5,637	
福里	西伯郡南部町	31,389	25,921	宅地分譲	5,468	15	115,746,000	0	完売
合 計		348,738	238,144	分譲住宅	1,814	7	103,067,000	94,931	
				宅地分譲	15,126	51	495,933,000		
				計	16,940	58	599,000,000		

3 賃貸住宅の管理

(1) 一般賃貸住宅

団地名	所在地	建設年度	棟数	戸数	駐車場	月額家賃	平成18年度収入
吉成	鳥取市吉成	年度 昭和45	棟 2	戸 32	台 -	円 22,100	円 13,169,818
		昭和46	1	16	-	22,800	
		-	-	-	57	2,000	
大谷	米子市大谷	昭和45	1	16	-	21,500	円 18,376,227
		昭和46	1	16	-	21,900	
		昭和47	1	16	-	22,500	
		昭和48	1	16	-	28,000	
		-	-	-	75	2,000	
合 計			7	112	132		円 31,546,045

(2) 高齢者向け優良賃貸住宅の管理

所在地	貸付先	戸数	平成18年度収入	備考
日野郡日南町	日南町	戸 10	円 4,852,248	

(3) 若者向け賃貸住宅の管理

所在地	貸付先	戸数	平成18年度収入	備考
鳥取市青谷町	鳥取市	戸 24	円 15,560,690	

(4) 特定優良賃貸住宅の管理受託

団地名	所在地	戸数	平成18年度収入	備考
イトン鳥取358	鳥取市行徳	戸 15	円 1,124,544	

(5) 賃貸施設の管理

所在地	入居者	駐車場	平成18年度収入	備考
鳥取市北園	名 8	台 76	円 10,139,254	

鳥 取 県 住 宅 供 給 公 社 損 益 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

科 目	金 額	事 業 別	
		分譲事業	賃貸管理事業
	円	円	円
事業収益 [a]	837,553,735	774,230,154	63,323,581
分譲事業収益	774,230,154	774,230,154	0
住宅宅地分譲事業収益	774,230,154	774,230,154	0
一般分譲住宅事業収益	267,174,738	267,174,738	0
分譲宅地事業収益	507,055,416	507,055,416	0
譲渡収入	495,933,000	495,933,000	0
補助金収入	11,122,416	11,122,416	0
賃貸管理事業収益	63,323,581	0	63,323,581
賃貸住宅管理事業収益	53,083,527	0	53,083,527
一般賃貸住宅管理事業収益	31,546,045	0	31,546,045
特優賃住宅管理事業収益	1,124,544	0	1,124,544
その他の賃貸住宅管理事業収益	20,412,938	0	20,412,938
賃貸施設管理事業収益	10,139,254	0	10,139,254
管理受託住宅管理事業収益	100,800	0	100,800
事業原価 [b]	769,525,995	715,406,270	54,119,725
分譲事業原価	715,406,270	715,406,270	0
住宅宅地分譲事業原価	715,406,270	715,406,270	0
一般分譲住宅事業原価	286,953,811	286,953,811	0
分譲宅地事業原価	428,452,459	428,452,459	0
賃貸管理事業原価	54,119,725	0	54,119,725
賃貸住宅管理事業原価	44,539,048	0	44,539,048
一般賃貸住宅管理事業原価	26,851,791	0	26,851,791
特優賃住宅管理事業原価	531,358	0	531,358
その他の賃貸住宅管理事業原価	17,155,899	0	17,155,899
賃貸施設管理事業原価	9,580,677	0	9,580,677
一般管理費 [c]	36,410,585	33,697,982	2,712,603
事業利益 (損失) [d = a - b - c]	31,617,155	25,125,902	6,491,253
その他経常収益 [e]	8,805,960	8,805,960	0
受取利息	337,877	337,877	0
雑収入	8,468,083	8,468,083	0
その他経常費用 [f]	68,796,173	68,796,173	0

科 目	金 額	事 業 別	
		分讓事業	賃貸管理事業
	円	円	円
支払利息	39,825,175	39,825,175	0
雑損失	28,970,998	28,970,998	0
經常利益(損失) [g = d + e - f]	28,373,058	34,864,311	6,491,253
特別利益 [h]	131,493,260	131,493,260	0
特別損失 [i]	116,781,129	116,781,129	0
固定資産除却損	2	2	0
固定資産売却損	0	0	0
固定資産評価損	116,781,127	116,781,127	0
当期純利益(純損失) [j = g + h - i]	13,660,927	20,152,180	6,491,253
特定目的積立金取崩 [k]	20,152,180	20,152,180	0
住宅宅地分讓事業積立金取崩	20,152,180	20,152,180	0
賃貸住宅管理事業積立金取崩	0	0	0
当期総利益(総損失) [L = j + k]	6,491,253	0	6,491,253

鳥 取 県 住 宅 供 給 公 社
貸 借 対 照 表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	5,371,683,819	流動負債	1,466,873,781
現金預金	499,880,678	短期借入金	0
未収金	58,030,537	次期返済長期借入金	1,411,927,604
分譲事業資産	4,806,392,353	未払金	12,514,610
分譲資産	2,921,073,085	前受金	40,206,225
分譲資産建設工事	1,885,319,268	預り金	2,225,342
その他流動資産	7,380,251	その他の流動負債	0
固定資産	971,883,452	固定負債	4,287,699,146
賃貸事業資産	746,548,736	長期借入金	3,546,875,851
賃貸住宅資産	901,495,671	預り保証金	9,592,200
減価償却累計額	154,946,935	繰延建設補助金	209,905,097
有形固定資産	223,883,880	引当金	346,485,618
建物等資産	158,490,588	退職給付引当金	147,479,585
減価償却累計額	56,699,295	計画修繕引当金	199,006,033
土地資産	122,092,550	その他固定負債	174,840,380
その他の有形固定資産	14,521,511		
減価償却累計額	14,521,474	[負 債 合 計]	5,754,572,927
無形固定資産	925,836	資本金	4,000,000
その他の無形固定資産	925,836	剰余金	584,994,344
その他の固定資産	525,000	資本剰余金	114,900,564
その他の資産	525,000	利益剰余金	210,010,024
		特定目的積立金	260,083,756
		住宅宅地分譲事業積立金	204,933,818
		賃貸住宅管理事業積立金	55,149,938
		[資 本 合 計]	588,994,344
合 計	6,343,567,271	合 計	6,343,567,271

三 平成19年度事業計画

1 県の「住宅供給公社の在り方に関する基本方針」を踏まえた公社の中期的经营計画

(1) 人員の削減と組織体制の見直し

必要最小限の体制で保有宅地の早期分譲に重点的に取り組むべきとの方針に基づき常勤職員を7人とし、営業体制の変更等より効率的な体制とした。

(2) 保有宅地の販売促進

重点的な分譲促進策を展開するとともに、引き続き、効率的な販売促進の方針を定め鋭意努力する。

重点的分譲団地において、分譲価格の見直し、再区画等重点施策を講じるとともに、優先的に広報媒体を活用し、早期完売に向けた取組を強化する。

社団法人鳥取県宅地建物取引業協会及び社団法人全日本不動産協会鳥取県本部への販売委託や住宅メーカー・住宅専門の工務店との連携を引き続き強化し販売促進に努める。

市・町の要請により宅地造成した団地は従来以上に市町との連携を強化し販売促進を進める。

新聞広告、折込ちらし、ホームページの充実など、幅広く顧客ニーズに応える。

(3) 経費の見直し

経営改善を図るため、経費・その他経常経費の削減に引き続き努力する。

人件費

常勤役員2名、常勤職員7名、非常勤職員3名により、合理化、効率化に努める。

事務的経費

経費の効率使用に努め、引き続き節減に努める。

その他

宅地造成資金等は多額の借入金で賄っており、支払利息は多額である。

金融費用は現状、公社の収支に与える影響が大きく、金利の急騰で負担額が増加傾向にある中、引き続き資金の効率的な運用に努め利息の削減に努力する。

2 今年度実施する事業

(1) 分譲事業

事業名	分譲 計画数	分譲収入		事業費				合計
		平均単価/区画	計	土地費		建築費		
				平均単価/区画	計	平均単価/戸	計	
一般分譲住宅 事業	区画 12	千円 34,500	千円 414,204	千円 9,563	千円 114,755	千円 24,400	千円 292,808	千円 407,563
宅地分譲事業	53	10,100	544,800	9,563	506,837	-	-	506,837
計	65		959,004		621,592		292,808	914,400

(2) 賃貸管理事業

一般賃貸住宅の管理

団地名	建設 年度	事業収益				平成19年度支出予定額		
		戸数	駐車場	月額/戸・台	年額	借入償還金	管理費	合計
吉成	年度 昭和45	戸 32	台 -	円 22,100	千円 8,486	千円 1,955	千円 5,464	千円 7,419
吉成	昭和46	16	-	22,800	4,378	1,009	2,819	3,828
吉成	-	-	57	2,000	1,368	0	881	881
大谷	昭和45	16	-	21,500	4,128	946	2,658	3,604
大谷	昭和46	16	-	21,900	4,205	963	2,708	3,671
大谷	昭和47	16	-	22,500	4,320	990	2,782	3,772
大谷	昭和48	16	-	28,000	5,376	1,231	3,462	4,693
大谷	-	-	75	2,000	1,800	0	1,159	1,159
合計		112	132		34,061	7,094	21,933	29,027

高齢者向け優良賃貸住宅の管理

住宅の 建設場所	建設年度	戸数	貸付先	事業収益	借入償還金	構造	契約期間
日野郡日南町	年度 平成14	戸 10	日南町	千円 4,851	千円 1,640	木造平屋建 ・準耐火	平成14年11月1日 ～平成49年10月31日

若者向け賃貸住宅の管理

住宅の建設場所	建設年度	戸数	貸付先	事業収益	借入償還金	構造	契約期間
鳥取市青谷町	年度 平成15	戸 24	鳥取市	千円 15,560	千円 8,323	鉄筋コンクリート造4階建	平成15年6月20日 ～平成65年6月19日

特定優良賃貸住宅の管理受託

住宅の建設場所	戸数	所有者	名称	管理手数料	構造	契約期間
鳥取市行徳	戸 15	辰巳義美	イトン鳥取358	千円 980	鉄骨鉄筋コンクリート造9階建	平成11年3月1日 ～平成31年2月28日

賃貸施設の管理

施設の建設場所	建設年度	入居者	駐車場	事業収益	管理費	備考
鳥取市北園	年度 平成3	戸 8	台 103	千円 10,080	千円 6,141	北園利便施設鉄骨造2階建

鳥 取 県 住 宅 供 給 公 社
予 定 損 益 計 算 書

（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
事業収益 [a]	1,024,536	1,095,489	70,953	
分譲事業収益	959,004	1,018,340	59,336	
住宅宅地分譲事業収益	959,004	1,018,340	59,336	
賃貸管理事業収益	65,532	62,149	3,383	
一般賃貸住宅管理事業収益	34,061	30,893	3,168	
高優賃住宅管理事業収益	4,851	4,852	1	
若者向け賃貸住宅管理事業収益	15,560	15,560	0	
特優賃住宅管理事業収益	980	1,124	144	
賃貸施設管理事業収益	10,080	9,720	360	
その他事業収益	0	15,000	15,000	
受託事業収益	0	15,000	15,000	
事業原価 [b]	970,219	1,043,587	73,368	
分譲事業原価	914,400	976,028	61,628	
住宅宅地分譲事業原価	914,400	976,028	61,628	
賃貸管理事業原価	55,819	53,408	2,411	
一般賃貸住宅管理事業原価	28,943	28,923	20	
高優賃住宅管理事業原価	3,287	2,369	918	
若者向け賃貸住宅管理事業原価	13,606	12,022	1,584	
特優賃住宅管理事業原価	333	0	333	
賃貸施設管理事業原価	9,650	10,094	444	
その他事業原価	0	14,151	14,151	
受託事業原価	0	14,151	14,151	
一般管理費 [c]	26,700	21,916	4,784	
事業利益（損失） [d = a - b - c]	27,617	29,986	2,369	
その他経常収益 [e]	900	1,000	100	
その他経常費用 [f]	75,723	65,540	10,183	
経常利益（損失） [g = d + e - f]	47,206	34,554	12,652	
特別利益 [h]	0	0	0	
特別損失 [i]	0	0	0	
特定準備金計上前利益（損失） [j = g + h - i]	-	34,554	-	地方住宅供給公社会計基準の改正による。
特定準備金取崩 [k]	-	42,083	-	
住宅宅地分譲事業準備金取崩	-	42,083	-	
賃貸住宅管理事業準備金取崩	-	0	-	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
特定準備金繰入 [L]	-	7,529	-	地方住宅供給公社会計基準の改正による。
住宅宅地分譲事業準備金繰入	-	0	-	
賃貸住宅管理事業準備金繰入	-	7,529	-	
当期純利益（純損失） [m = g + h - i]	47,206	-	-	
特定目的積立金取崩 [n]	0	-	-	
住宅宅地分譲事業積立金取崩	0	-	-	
賃貸住宅管理事業積立金取崩	0	-	-	
当期総利益（総損失） [o = m + n]	47,206	0	47,206	